新尺度を援用せば

米國は比率抛棄を認む

気の世界的

野し 一般戦闘言義の採用を以てしても動しなりに終るとの影滅有力に行はる語答する事を依然とし、根章があるので、比率主義態素、内に眺かるべき本動震も総闘お座メリカは日本に鬱戦上 日米間に 根本的な見解の 縦の成功は襲束なしと眺され本年

最初の電氣大會

內地權威百餘名出席

二班に分

近の問題同上技師

主義拠棄するも

日

程《第一日》八月二百年前十

【第三日】

事午後思ノ海にて遊泳、自由船中 【第二日】八月四日

七月三十日

米、頑强に我主張に反對

の成功覺束なし

先般來願東遊信間と慰蒙中であつ。おいても近く酌賣高脈の調査を行。抗影覺書の趣言に爲き載ねて自園 二重施設 の遊廳を企画し どの間に既に探衝を終り、新京に 處置及び越境に隱する一日附り職交通部敷務司ではこの

申込方法、

住所氏名、

業を記入の上、満 を添へ申込むここ

洲日報事業部宛申込金五圓

郵便の集配局割がはつきりせず

郵便物集配の

日滿現地協定により

大便館参事官ライヴイット

一十四日酸園道】戦日ソ

一十三日午後六時外務省に東郷駅

化計畫

楊木林子事件

れるものではある

で、今日大した支障はない日謝間の無電連絡は一時的

らればならぬ、これが完成の年以上かいるから一日も早く

選あり質現に至らなかつたもの

定職に限りがあるのでな響点は脈脈・し込まれたれを胼胝せんとするのである、左の規定によって

イルチス砲臺、モルトケ砲域路(舊中野町)海濱公園、生水沿場、會姓岬砲臺、魚

ルトケ砲豪、ビスマーク煙臺、第一公園、水族館、忠魂碑 復公園、水族館、忠ノ海

他臺、その他

八月三日午前十一

五十餘名(禰員なり次 八月五日正午着

十八圓、小兒〈土」藏以下一十三圓(船賃、食事

衛秘殿の親を繋めた支那に珍しい女化都市で、 ・ をゝなつた、常島は日源戦争の戦跡地であり、天

、黄海の波譜を聞つてこ

殿の際集を行ふが

整これを八月第一日鑑を中に挟んで三日より五日にかけて撃行するこめらう、本社は歴史八月の一日を最も愉快に逃すために背島旅行を計覧は鮎……海上航行の壯快さは厳熱の都會人が等しく憧れるところで

説の態態は悪菌と共に直に驚陥さされる割である、なはこの二重脈

も是非至急着工したい。

滿直通電話

される經費並に勢力は根常なものもこの二重施設の撤騰により削減

國幣換算 等の不便も除か

日滿共同事業さし工費二千萬圓

ニケ年後には完成

情で使って漸進的に撤廢をほかる方針である、なほ右二天整裂と密繆なる職僚をもつて國籍法制定問題なども併實を使って漸進的に撤廢をほかる方針である。なほ右二天整裂と密繆なる職僚をもつて國籍法制定問題なども併實が人に認識なる影響を東へるので漸進的に行政の調整をはかる外なく、八月一日の閣談でも右點言の版本方針のみを超る何時までも規規を銀ける際には行かぬが急激なる。變化を東へるのは妥當ならず、且つ在浦邦人にも直識な何時までも規規を銀ける際には行かぬが急激なる。變化を東へるのは妥當ならず、且つ在浦邦人にも直識な所能となってゐる土末、教育、經年など態る膨緩壓に聴じた文章、名のは妥當ならず、且つ在浦邦人にも直識な所能となってゐる土末、教育、經年など態る膨緩壓低壓低壓破を有するので懲者な多ず。且つ在浦邦人にも直離な所能となってゐる土末、教育、經年など態る膨緩壓低壓低壓低壓低壓低を有するので懲者な多響には近後駆動態に帰しては從來南非人に膨戦なる膨緩を動力として衝進的に放射を経過の膨胀と対めるを被する、外月一日の定例閣議に提出正式決定があると、なった、心して衝離性膨地な緩慢・として漸進的に撤廢をほかる方針である。なほ右二天整裂と密繆なる職僚をもつて國籍でも有些でもの情熱に関する経過の情感となった。他は安全に関策を表

を見ず七時過ぎ離去した を見ず七時過ぎ離去した

| 東京廿三日義園通 | 株殿様は大 | 薬大便は二十三日の輸見の総點、 | 歌理事動は舩とニト | かた | ガアル解外根 とクラーク | ジュネーヴニ十三 | 水逃に密へて鉱敷を打合せ中であ | 像へられる

来選に整へて転策を打合せ中であくなった。

一声島見學團

四日報】治外法機徹陽の順序

漸進的に實施する方針

來月一

日閣議で決定



天機を奉伺

長所張出京新書物井三 吉 佐 山 中

の心場を説明し他國政府が見を固執する場合英政府は歌

帰保健康中央部はじめ総一萬名に

心るため若干延期する模様で

發見創製

変合される事になってるたが、実

行賞遅る

原田大佐視察

等部市の示感運動は直機に日本をについてイタリー政府版ではこれについてイタリー政府版ではこれ フノ、ゼノア、ボロニヤ等 に腕を避め、そのまと素知らぬ腕「あたしと、業期しない者に打衝つたやう」「え」

我外務省見解

明子はわれ知らず、そつと引つか、変に監のやうにわき赴つてきた。

りだと想つたわし 「はんと」 「あんたのところ読ねたくとも、 て、それと知ると催子は試

が だつて、歌からの友情もつてるる しかしそれにつづく能解の窓ひ覧 であるやうだけれど、あたしには 部屋のなかからは、銚子の編を てるるやうだけれど、あたしには 部屋のなかからは、銚子の編を こうないの。あたしあんたには今 ふくんだ突ひ繋がきこえてきた。 でしょ。 ぶは明さんの住所知つ ごくに行つてみた。 明子はわれ如らず、そつと引つかて かっている しかしそれにつづく能解の窓屋の こかしてれたつづく能解の窓屋の こかしてれたつづく能解の窓口

十日闘京の豫定だが、視察の目祭の後古北口より素徳を經て三祭の後古北口より素徳を經て三祭の後古北口との書徳を経て三祭の後古北下本根

的は今次の陸軍製品 すためである

行動に出るにおいては英歌

愛戀十字街

東京特電二十四日融】 北伊都市で 反日示威

は日本攻撃の重点を行つて居り、 エチオピア南國の

真實の哀み合わ

紛爭處理

聯盟規約第十五條による

英佛問

間の意見一致

九日開書され「理事動に限み、総野の全蔵院設理」「日義國通」職「戦特を改定、可成り強硬な態度では、一大二日の閣議で職能の展験の

新したと 極度の緊張を示してるる、突然所でしたと を かい ジュネーヴの 名類は早くも





汽車【劉着】▲(午前八時

來(廿四日)

でではりあたしが彼めに慰告して しなかつたのよし 「事情があつて、漸にも御知らせ

網主張に英國が先づ屈し、米國最も合理的且つ正常なる日本の

また折れんとす。

0

新子は、明子を上から押へよう押し かつての鑑子はさうでもなかつ けたが、帯郷のことがあつてからの は子は、明子を上から押へよう押し がっての鑑子はさうでもなかつ 脚栗すぎて、世の中のこともつと だつて、あたしあなたには異響だ たったになりたったでしょ。 あの頃のあなたは、 電が至ひさうになったわよ」 電が至ひさうになったわよ」 けなかつたんだし とび降りてるた。 で難を続らめ流げるやうに徹成をしたやうな気がして、感はず膨下 「しかし、あの時はどうしても行

東大敦

勢の力も見逃してはいけない。

金と力のない色男扱ひは怪しからた調査局の変異連が「何時までも

振補、練塵子で一覧から揺かれ

に行きまひ、俊女の恨み話ともつ に行きまひ、俊女の恨み話ともつ 子への成心からこの紋束は依要して が表を健慢してゐた。そして明 の紋束を健慢してゐた。そして明 光にドライブをする紋束をしてわかの野話をさんざんないたよ、日

新荷 ン業 そのよ、このアパアトのこともあてもまつたのだつた。

職能に解釋してはいけない。

のなら競正するに如かず。

順費多端の折柄ソンな無用なも昭和怪談』吉田御殿の騒動とだ

深郷な人生謝難の視察だけに割へ 郷率な総鑑、素はれる変態。

のある言葉の下には、いつも皮肉「光電してよ」 「あたし重大な用事があつて、火」 したばかりの電視のアペアトをど 橋木八百二輪 今ころ酸子がどんな用事があつ 醫學博士 倉上由一先生 驚くべきホルモン 成々分の抽出に成功せる なる生體より其の精過機 アランガは成熟せる新鮮

により其の効果を るゝ雲南麝香の配剤

一層發揮せしめ

及皇漢醫藥中亢奮性特殊 とし、夏に睾丸ホルモン 最新男性ホルモンを主

ルモンとして珍重さ

さう云ふと徹子は、かるく

なるホルモ たる全く獨特

國線新ダ

あじあ哈市直行

時間大短縮

正式決定

るを建館として市の職業紹介所とある

献の神刀を改める栗原氏―大連雑乱にて

づ常年敷摂に入撃せしめ且つ青年

解者の知言は何より先

こて被論するもののうち内地帯年のポスターにより武艇して激級と

大連級 奉天級 新京殿 哈市

4.00 14.00 11.00

111700 4710

間このダイヤ欧正と共に消影線の平無線、 恵山線等関線では、 平無線、 恵山線等関線では、 変力時間欧正されるが摩山線の北 本天線源となつてるる、この外側。 事天線源となつてるる、この外側。 単の常線により新な器器時間も突 をした

の如くであるの如くである

001,111 [43,41 00,41

ねばならぬことになり、こゝに 見重を無典を理に収容 影滅方面の超過見ずだけを収容配の必要が認められて本年度よ

増設の必要が数年來各方面より 全く飛騰的な痛え方を示

青年學校の 振興に觸手 民政署當局乘出す

と 数等は九つで特に都生方面の影響と に注意し、各館の低所等も全部水 に注意し、各館の低所等も全部水

いモダンなもので地略一〇七、六五平方米、二階四二大、八五四平方米、一階四二大、八五四平方米 今までの小製機に見な

新か餅和状態に変し要要者加、要 て大連市内の急速な人口増加につれ 大連市内の急速な人口増加につれ



謹作の、神刀奉献 の實剣ら

刀匠昭秀——栗原彦三郎氏

邮祭で融る

能を求めて一殿一県びゴングの響き、一般郷し、湧き上がる旺盛な日本機戦に書

四勝つて戸外に配出し大阪場を一間して

ケ心の間を往後、ロードワークが声む 六分乃至九分の解釈び、飛ぶか

からいた。

艦を休めるの

或はグローブ いてシャドウ

音がよどんだ遺場の空気を揺がしていく と「最敬を」の戦争がからる、静かに東を

本に着換へた意見十五、大道場の午前六時―ユニホー

の機造所、ニメY・M・C 酒港の大黒に挑戦する 肉歌

Aにある新東洋縦断者の

エ國皇帝に

(下)林楽鏡穂敷)上)楽 (けをなす)

は栗原氏は二十五日出帆扶桑丸。

明瞭な標識と開催の映画を登ふのだ、

れて足滅を、加脈のスピー

は小鬼那般の語、斯くして時の使つを

製造の意味で酸陽酸の刀匠含子、製造の意味で酸陽酸の刀匠含子、製品に、網匠調査はエチオピア製船に、網匠調査の 刀匠協會が献上

(明期物質配理三郎)

大連神社大前の盛儀 じ順田外相にこれが斡旋方を依頼

『本天電話』本天代佛派派○○派では新楽春成せる代佛派派○○派では新楽春成せる代佛派神社選座では新楽春成せる代佛派神社選座 遷座祭

曜秀と続して現代刀

土用丑

の日の盛況

お腹に成例するうなぎの数も多い 別高は戦闘にして一千百二十一節 食堂のお書をのぞいて見ると、 気で、人いきれ……その中のなぎを並べてゐるゲッと興 なるほどうなぎの配日だ、

1935年型

こそ『

を示して居る唯一のカメラであります

した結果、機械を

水禍を免る 大候恢復して あつたので後代低合長山 繁のため酢変提出し 駅のため酢変提出し 駅のため酢変換出し 駅のため酢変換出し 駅のため酢変換出し 大連舞踏場組合は二十 全滿 聯合

「會組織へ

開東廳の肝煎りて積極運動

ベルベルク 半袖 三 原稿物でつくりますのもまた氣

いたもので御座います

白

+

ラ

夕

日五十二月七年十

、大連に

平和臺に建設する靜浦小學校

この秋には落成

小學校舍

る漢江増水の爲め、水災を緊急は 京城市民安堵 民の重散を得た、別館 ペロケ代表者河村統治

大七三六 カンドラン

合を公認組合として同同題は開東地が大

ため外貨主、脱脱の不便少くなくの位置及び所在を知るに困難なる

れかまそ園は勝ち米曜二勝一敗の デ杯インターゾーン米職ダブルス デ杯インターゾーン米職ダブルス 大 職となった、その結果左の通 *

無事、京都に向ふ語來電があつたに慇懃し、紫藍観だしけれ来一同 番號改稱 電車野積地區

人二中旅行團

サービス水位

建設は頭腦より

義昌無線經濟直賣所

フチオと電気の店 大連連鎖街 電三. 一大七〇

頭腦ははれやか より ||東亜州 3050 00

速市京日 店店 浪速町通本橋 通 大新 H.

四國に地

・強かつたの き方、京都では使影であつた ・強力の国の 突は脳山戦中部にあたる、なは脚 ・地方の国の 突は脳山戦中部にあたる、なは脚 ・地方の国の 突は脳山戦中部にあたる、なは脚 ・大きながったの き方、京都では使影であった。 震央、岡山縣の中部

て來薦の早費田大學職場部一定期間深戦の日本代表チーム

計獨ダブルス戦 米國組勝つ

入蹴球軍 十五日來連

中國

純絹 第三回發賣 グラニット、地ズボン

*二圓廿錢 | 無線の概楽順、クリーニングすればする程よくなると云ふ庄地、前にに是非お呼く値覧でさいませ



0

=

倒

3

全商品ヲ擧ゲテ 日一 割

浪速學 引

電気をついむ彼の影

又それから十年後に、大和路の節 をゆるされた一院の式だつた。 でのまだった。 でのまだった。

をの奴を癒してる というの は、あいつの は、あいつの

現状であつたが、(値は、影響) 情都観察となり、南都にも味え で出着つた時には、後は、もう

日

於ける獨唱者を思いだが會場の通り 直に静吟することになり、

花治

(202)

きく職へ楽かつて、屋根にな の個様大衝襲が、戦魔のやう 自分の城少と、鎌宮の城少時代と 一十歳年の誠月が置つてゐる 一二十歳年の誠月が置つてゐる 一二十歳年の誠月が置つてゐる 一二十歳年の誠月が置つてゐる 一

る。そして後が落塊れ公野の子と 職はれ、ガタ(一年車で日野の要 職はれ、ガタ(一年車で日野の要 の家人の辮子として、多くの"特"。 を供につれ、デャセしい牛車に概打 たせて、日低に、繋合の門で誇つ

では、現在のこの数ました。 をが、一歩ごとに、名と動力を認 であくのにひきかへて、自分は であるのにひきかへて、自分は であるのにひきかへて、自分は であるのにひきかへて、自分は であるのにひきかって、自分は であるのにひきかって、自分は であるのにひきかって、自分は であるのにひきかって、自分は であるのにひきかって、自分は であるのにひきかって、自分は であるのにひきがって来た。 メリカに無弦してるた時の情品で

ボータブル

are an area and a second

1010・無用五円

脚色ロバ

ムビア映畵社超大作全發聲日本版

ト・リスキン、監督フランク・キャプラ

た。徹の様手は、練名で一角になるか。徹は、懸な

こ。――だが容易に徹の「一様は食けた、形に於って、痰子貴機の上に立つ」の離から、配を仰いだ。

赤露の聲樂家

ペロケ出演

マラドロメ・ンタツハンマ(名劇)

嫁花たれかぞの ーキート・ルーオ ・タスルーオ他 演主 見狂 杉 トスヤキ

ーカーロザ・ラゼンア スグンニヤ・ルーミエ シツリクニ・ツンラフ

をくなりく

か、他が大上殿にかぶったかして明時と地震にかぶったがして明時と地震にかぶった。 他はない ルードリボールののにかして明時と地震にかぶった。 他はない かんして明時と地震にかぶった。

はに町港の生人 いし美もくなり限 くどつり降が雨の情の人

八月の大連演奏

ナ・ロイ

しょう ニュース

料人一 +

直割にうづく美しい友情を描く W·S·ヴァンダイクの 傑作 集 下階上階



三割引大見切

石

來月半期

夏絶好の御買徳時 決算を控へ手持品

先づ眞直に皆様の 履物特別率仕(巻音是限り) 掃の為夏物處分大見切 幾久屋 レコードケースー・一 開催



電話二三六六六番

かとうち

りが動かない……べては早速

承井清子

合醫院

在の

松竹蒲田オールトー

池田養信監督作品

栗島すみ子・川崎弘子再度の顔合せ

爆弾小僧·

小林十九二・大塚君代・大山健二助演齋藤 遠雄・日下部章・日守新一助演

キャプラの名コンビが再び醸す最大の娯樂映画且つての名篇。或る夜の出來事とを凌ぐリスキンワーナー・バクスター

錢十八 錢十六 出公日五廿 大たの二前公る堂十後開々巻篇

ぬかるみの人 鉄正午迄の

切支丹宗徒にからまる殉教と戀ご殺陣の大繪卷

回二リよ午正 回三は日曜日 制日元十

田正二郎

大豆も賣物薄で騰る

至る上半期中上海へ 人せる外國

輸入品中の首位

對日附

加税を

及政府の日埃通商総紋職業は敷から外務省への公電によれば、コアレキサンドリア昨任天城總領

アレキサンドリア駐伍天城總軍

日貨防遏不可

埃及新聞論難

0

魔器の利益を無視しばらに英國にな日本品を消費してゐる一般消費

加國、

實施に決す

適用は二週間後か

満商側で占める

蓋を開けた奉天の見本市

伊國の公債

整布に對應すべく連日首屬部會議一人が政府は日本政府の通常振涛法の「

に輸入せられるあらゆる日本商品

を残忘した、同國政府は日本とのの一の附加税を徴収する事に方針の一の附加税を徴収する事に方針

- 城商 城市 古一店

新付高值 安値 太引 人類 前場(單位候)

木未連載島里六六· 大連戴島里六六·

映楽翁

活館

手掛なり

花咲く樹前篇 12.50

花咲く樹後常

3,10

1180~000•00 1180~000•00

6,20

.40

場者の七割を

(国民物质或理三集)

糧精連大

分一搬込の二十五萬國とした。 他職保方面に仰ぎ公稱百萬國、四 他職保方面に仰ぎ公稱百萬國、四 を開発方面に仰ぎ公稱百萬國、四 を開発方面に仰ぎ公稱百萬國、四

といふ悲遠に此んだ。ここで経際によるといる悲遠に此んだ。ここで経際

の観覧上欧策による影像を耐以来一内地に輸入、内地地金融の手を通

日本の金銀輸出入一

編纂第二新株は左の如く構込徴収

滿鐵第二新株

拂込を徴收

石拂込によって第二新株の搬込祭

排入期限

十月一日一株に付き十回

氏が退き現在の極田氏が敷帯に就

を 説の8を配したもの、 概可てるないだけに灰汁もない、 概田氏の変

正隆銀行株主

1の服の概

中央映畵館

7.00

12.00 3.25 12.10 3.35

1.40 5.05

天一坊と伊賀亮

THE PERSONAL PROPERTY.

営口から

配當は四分据置

支那向豆粕急增

職品は大正二年の開業で富地業界、商品は大正二年の開業で富地業界、福田融品は明治四十二年、経際

職を輩げるやうになつた、耐畏は で利八年の無機米物評機械の避明となり、 で和八年の無機米物評機械の避明となり、

(機震と支那紙袋懸置による腕保で 大配素のなかつた繁白面景も近境 大配素のなかつた繁白面景も近境 大の大の景器に伴ひ北端の豆粕相場 の大で影響に伴ひ北端の豆粕相場

市

滿洲日報廣告部

四四四

ō

も地味、野館な製織を挙げるやうの配割を行ひ九年下期に初めて二分回屋 郷和七年下期に初めて二分回屋

滿淵

商社

9

7

銀布の他人総図を企画してゐる、 大阪栗所人電によれば東印政府は一許可能としそれ以上の個人態に對。 大阪栗所人電によれば東印政府は一許可能としそれ以上の個人態に對。 大阪栗所人電によれば東印政府は一許可能としそれ以上の個人態に對。

求償制を加味した

輸入制限を企つ

を中止して事ら附加税増銀の手数しある

られるのは二悪間後となる模様で手続きその他の關係上実際適用せ

蘭印の對日貿易新政策

上半期は著増

よりなほ甚大 損害は 發芽後は油蟲と雨量過多 發芽歩合は三割四、五分減

既伝願のみの統計であるが、未に止まつてゐる、だも右は遊廳し継矛見込配騰は五萬七千餘町 思惑筋の買氣で 清極面積 破牙見込面積 で2000 高粱奔騰す あり、裏収高に於ては更に

職に加へてその後陸地間は離蛇の 変に加へてその後陸地間は離蛇の 変に加へてその後陸地間は離蛇の 変に加へてその後陸地間は離蛇の 変に加へてその後陸地間は離蛇の の雨は却で樹作には過度の嫌ひも被害甚大で六月より七月にかけて

歩にゆすれば接牙配機の比較で三れ、昨年の電線八萬二千八百餘町 にゅうれば接牙配機は六萬町歩と見ら 年度の最非能機は六萬町歩と見ら 本外口彫引が開始されてゐるいので、是等を合するも 糯水本 して野流してはゐないが、既に膨出の各廠の橋假は末だ動けるに 午養から鱖三日にかけてであらう リラ切下を斷行し 經濟的競爭力を增加

第天電話』 福州見本市開催を使してゐる 好評展覽會も 來會者の非常な感興を蒼き、奉天 **■を示現し、各種の工業生産品は** したが、文字通り奉天工業界の籍 新興工業都市として奉天工業界の天に在る者さへ戦へられる有機で 全観を遺憾なく現出し好評を博し にも新んなものが出来るのかと奉 味があり、終つて一同音響を歌い

も浦服に寄港すること、 であつたが、今回の南郷

濠洲粉の投賣杜絕等で

標に奉天工業界の全貌を 開州工業會長、丁賀業部大田の配 電長の焼撈、宇佐夫懇親事や山本 電巌鉛において開き式を繋げる田

にコートンとでは、今回金剛元配を運動してみたが、今回金剛元配を運動してみたが、今回金剛元配を運動してみたが、今回金剛元配を運動してもたが、今回金剛元の配を変えません。 〇トン)の二般を激航す

記言川谷幸左御門氏は抗合せを終し、東京二十三日後國通・過級職務を各方蔵と 務官歸任

川谷駐蘇商

上期・内地製粉の

對滿輸出は增加

大空 引

高粱 一〇七八章 △九章 豆油 五五〇年枚二二一千枚 豆油 五五〇和 一〇有 豆粕生產高二十五日) 1三、〇〇〇枚 十折 株式株式

は、山葵、ウドは硬化すれ、山葵、ウドは硬化すれ、山葵、ウドは硬化すれ、山葵、ウドは硬化するを辿って、山葵、カドは硬化する。

伊國の法定準備條項停止に關し

我爲替銀行筋の觀

ローマ市側も共に安値に崩れた 見る變素を見せ、またミラノ市側 一海鯛金単位にして近来の記。 市場に於けるイタリー公側は縦に | 米は二千百六十八萬五千二百二

破り、輸入貨物中の第一位を占む一海關金単位にして近来の記録を るに至った、简ほこれを仕出國別

上海上半期の

11、○○枚 一東 11、○○枚 11、○○枚 11、○○枚 11、○○枚 11、○○枚 11、○○枚 11、○○枚 11、○○枚 11、○○枚 11、○○ 12、○○ 13、○○ 14、○○ 14、○○ 15、○○ 16、○○ 16、○○ 17、○○ 17、○○ 17、○○ 17、○○ 17、○○ 17、○○ 17、○○ 17、○○ 17、○○ 17、○○ 17、○○ 17、○○ 17、○○ 17、○○ 17、○○ 17、○○ 17、○○ 17、○○ 17、○○ 17、○○ 17、○○ 17、○○ 17、○○ 17、○○ 17、○○ 17、○○ 17、○○ 17、○○ 17、○○ 17、○○ 17、○○ 17、○○ 17、○○ 17、○○ 17、○○ 17、○○ 17、○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○ 17 ○○

豆包高大

手合の せ

秦東株式店。 大連市開墾三八 大連市開墾三八

0,11 1,10 3.37 4.4: 5.5 7.05 8.11 解阅 11.00

世二日より大公開 郷太郎・原駒の 高島 双 花 次 川島奈美子母性変 一二つの の で

第百回決算報告

四三 限り

『上海世四日級』ポンド近物に中央、運鹽南銀行の震かが場に関係ありて弱合な月末 には外銀に関係ありて弱合な月末 上海神標で金 上海神標で金

歪

大の

涙の渡り

に張くもので智慧意識は一個個を入機増しなりその大。分は観輸出

英國の態度

俄然硬化

然し伊エ紛爭解決望みなく

聯盟に危機到來

までなく つこうとがようでは、 の監明に表現されたアメリカの以来や死の状態にある職職に の監明に表現されたアメリカの言観もなし得ず、却で日濁腔「始したとと、 騒覚のハル関移長ので観事會は伊エ鋭野師歴に何一度は猛然戦を膨って日本攻撃を

引揚を勸告

の止めを刺すが如き

及び杉村大使の壁

官教師職本部に転しエチオピア奏

間の師をアデスアペパ

度戦略内の意向を綜合すると

る一様熊氏・町で、駅二、駅鉄川棚田中佐・地の一位に進載、能つてきた。一位には姿謀本部より解兵中佐継部後任は地戸中佐進齢界任、同窓上、東越、同窓上、製造、東京二十四日殺國連3八月の異して本省東部最へ、戦争、 その後に、東京二十四日殺國連3八月の異して本省東部最へ戦争、その後に、東京二十四日殺國連3八月の異して本省東部最へ戦争、その後に

が海軍當局の

ものでない」といふ事は比率主義を口にしながら、なほこの言葉観念に基いてゐるものであるといはねばならず、比率主義地をいはればならず、なほこの言があるのは不可解である

軍備の貿現に在るで不過或不侵略が

する事になり、來

本方廿日頃歸在 本方廿日頃歸在

られてゐる

極めて良好

支提携具體策

に國民黨員辦事處副處長

《新京二十四日酸圖通》 軍事案件

參議府會議延期

外務省で本月中成案

所の保定を施多天戦に就事機を派所の保定を施えてつてゐるが、右続国で高騰氏、秘書長に劉肇昌氏、総書長に劉肇昌氏、総

根護に総つた上野支政策を職事

注目さる」政

府聲明

關東軍關係異動

第二課長に河邊中佐

兩海軍條約の延長を實現する事は出て 比率主義の廢棄を堅持して譲らぬ、既に日本政府が顰府條約の廢棄を通告し、強備會談としてはワシントン、ロンドン兩條約の延長を要望し

附属地の行政権

必選については

總洲 満 中 大田 - 町野舎市連大

政府と軍部の

てる最高方針を協議の結果、

李主義を断念し「安全域の本主義を断念し「安全域の本主義を断念し「安全域のれる、米政府の四大原脈の内容として

『ワシントン二十三日級関通』英政府の比較主義崩棄整明に引

配した『寫真は

された国際党働會議に我國資本家去る孔月ジュネーヴにおいて開催

社會問題化

星野辰雄氏談

失業は

張外交 相來連

る世界の狀勢につき 戦闘一年有脈の回想と最近におけ

制能調肌旋の豫定であるが、 上遊谷中將の著任を得つて爪

大説は私田 大説は私田

安全感均等考案

發議招請は英國に

今後の折衝に待たねばならぬが、本ない

今後の折衝乃至海軍縮小本倉譲の招請についても縄て英政府の一議提唱は英政府に一任する、更に海軍制限問題今後の折衝に符たねばならぬが、新方式に 關する 發、、比率主義に代位する海軍制限の新方式を考案達成する事は、

てゐる

山岡道武氏が爬圧する事に内定し

「安全威の均等」の原則を提唱する、元を安全、但し海軍制限新方式の基調さして、米政府は

等を意味するものでない事を特に国明する必要が

る各國政府の保有兵力量の均

力を全般的に増加する事には絶ソトン、ロンドン兩條約の限度以上に各國政府の

滿洲事件費も相當增額必

西下車中

陸相

る

然的な歸結だが、米國は

三氏に難しては追って何等かの處で、東京二十四日酸國語》外釈答で、東京二十四日酸國語》が釈答。

働音識の模様につき左の如

歸朝を命ぜらる

一十四日午後八一十四日午後八

て出席した東京

歌旋期 瀬中将の

米空軍更に充實

比島聯邦

五日を以つて修巧するに確定した

日報國通」極度

間の

連捕されたと無根の事態を遊音観に出てゐたが、既に日本憲兵隊に

飛機八百臺建造案可決

のならば物る▲恰も演繹しために活用する方式を考へ そそのの 易

10氏は二十二百ラヴァ 浙江財閥

米支經濟提携を折衝 月渡米

本日十六頁/2

風水害を少くする知識 世界的崩壞と言語を相 ハリウッドの女優の美と若さをもつ最新飲料 難解典伊·ヱ等の眞相 澎湃たる大衆の熱狂的支持!! 捉 風 的 賣 行!! 一手販賣元 經營東京八〇四五份語九月四七九七日本。滿洲國 經濟知 聽 社代 理部 讀者出題 寶石密 ヘリウッド・カップ當選者を新しい大願率直の印象記を読め…」 害・滋食・保健・美味飲料性と健全な精神のもてるコーヒー 割業の苦心 界 青山內務技監 常 根津嘉一郎。渡邊 油 藤山雷太。高井川吉 條金 必備飲料 壯吉

の世界一般学園策勝者設置につい

を確認するに残し、既に設能を終とし、この機の性能ある大飛行機十大変と同様の性能ある大飛行機十大変

を見き始か問題について打合せの 治外法職が開助題、日浦都海共同 途に就くことに 東京特置二十四日襲』 道洲屋の 十五日午後九年

質への活動を開始してゐる、心し

谷參事官歸任

地方行政整備方針

康徳三年度豫算編成を前に

總務廳長會議で檢討

賽馬

【新京電話】瞬に脳洲國

課稅反對

阿片零賣所

ソ聯優秀機

十六臺建造

全國民の献金で

イタリーのムツ

人種戦

協和會の創立 三周年祝賀

な。政府の任

であるから、 その官的政治の

要者式の記念日に、創立 て、世詩にも鼓奏必ずしも一で 職もあれば、物足らぬ動もあつ

蘇聯極東軍頻に増員

滅蘇 國境警備を 强化

製師な**き味**の見方にて見られ ない事は歌謡出来る「特數品

ながら、しかも読者

では行かれ、古を動への都装。

思智能などと一口に云ふが、生 つてこの世へ出てくる者は一人も

映點だらけの男

111

能分割を数ふによ

ボ驛通過列車殆ど軍用

伊工紛争と

社

說

第4件数地行政機関連につい 派遣して各方面の調査に詳らしむと契約の清洲國治外法機能等問題 早々川雄鷲蘭事務局求長を現地に東京特電二十四日参)政府は愈一になり、城對首事務局機裁は來月

對滿投資問題等

根本方針確立

伸ばしつゝある、即ち國內 ではしつゝある、即ち國內

川越次長近く

薩派復興の現勢力

るに至つた、而も政局大温量 夏最中に、山本伯が独自相を を放つたことは、短刀を突き を放つたことは、短刀を突き が、時局政治に属し諸関的言 が、はれ、第二次終 がなるのといはれ、第二次終

深刻なる政權爭奪戰

埃及に反省要望 通商條約廢棄覺書に對し わが政府近く回答

戦を脱立し機優的に変出すこと である 戦を脱立し機優的に変出すこと である 本方針を決定することになった、これに脈縦 局ではこの結果に属き横洲圏への 大変問題並に横遮破組に腕する板 が した して は 一である

原金慰在高に依れば、人員四千四百五十 の麒麟を示してゐるが二十四日に縄離さ 『東京二十四日發國通』郵便貯金は設月

億臺突破

産業界殷盛が因

第三の下に自下これが戦闘を進め である

北麓公院銀行に続する事務助扱る「新京電話」財政部では本年二月 駐日財務官 後任に坂田科長 日 八札保護金及其納付日時 各 日見積金額・百分・五以上(圖 自見積金額・百分・五以上(圖 宗帝第三十五號・資格デル者 一、契約號正官 爾東州總長官々 房會計課長流木和成 昭和十年七月二十五日

國教育代表

二十六日新京發赴日

福の壽し(ふぐ) はたるいか甘露干

=--0∴0 000

0

ii.

-

为古人

產

のため東京駐在財務官の任期は三ヶ月 にして既に六月一ばいで期限が可にして既に六月一ばいで期限が可にして既に六月一ばいで期限が可にして既に六月一ばいで期限が可にして既に六月一ばいで期限が可にして既に六月一ばいで期間が明まれた。

界各國酒類

00

Joy of the laste

を現ぶし、動政プロツが明治 以来の膨派に振り、一味能繁を総 以来の膨派に振り、一味能繁を総 以来の膨派に振り、一味能繁を総 はこのプロツクは賑れさうにない。 出征網脚ともいふべき膏を打 出征表して下される。 出征網脚ともいふべき膏を打 は にない。

千家尊建卿歡迎會 卸小賣共御注文を 清 醇 良 酒 して居ます

金金人 〇一、四九二圖三七錢二八〇圖〇六錢 周年記念

D午後六時半

本日局報を添ふ

名倉製作所

は日本がイニシアテブをとり日本のはこれが最初のこととてその盛 半原際に登通した 局一際語と共に無事大臣を乗し一単に山田部隊長以下將兵は北支時 前身で あつたとは 誰が 想像し得るの男が、世界の巨人ピスマークの シを知らい人は恐らくあるまい 薬やかな戦血空相の巨人ピスマ

ータ』は一度は誰んで置くべ

事請負入札告 行期間 契約ノ翌日ヨリ百 夏の遊び場所は老虎灘

さられた

せ七日、土 廿八日(日 九日

問らしい成績を乗げて居るが、財 所は近時漸く利穏化し、收益も素 統計され各地に散在する阿片書館

A

田田田

日金

御料理ライオ

大連老虎灘東寄海岸 店

本各地名産

本遊の程を!! ライオン式、良品薄利多賣主義は總べて本店同樣、是非一度御大小宴會、各種披露宴、御散策の御休息所でして最適。 老虎攤東寄り海岸に、清凉なるライオン別館を新設致しました 老虎攤東寄り海岸に、清凉なるライオン別館を新設致しました

Born 1820 - Still going Strong ジョニーウォー 力

属正スコッチウヰスキー

大知の音

日本人には、とかく頭から不良

不見大學生、大不樂生家、頑固で

安を認めない

柴森^{甲大戏赤}鈴島嘉山三井松島五村新田田愛^內羽木田村下上村田十田衛 天富素_{進界}末三は太次 翻籌貞賢治太 馬養人運作吉郎ぎ郎郎浩老軒彦監郎郎

天・天地震を表現の

北げ廻る

ールに加へて十間房監警路底號の/編洲演/と紹打つた頻榜 の製送による永久不敷の編刑式俳瓜演を近く接頭する事とな の製送による永久不敷の編刑式俳瓜演を近く接頭する事とな

びク趣味の機票がと聞した潮洲各地のマッチレッテル(一〇

るものと

有倉庫を 安東驛に新築

を受けると外職は何にまでも東洋古 が変要し成氏の終訴に得ひその強 が変要し成氏の終訴に得ひその強 が変要し成氏の終訴に得ひその強 が変要し成氏の終訴に得ひその強 が変要し成氏の終訴に得ひその強 が変更しないと内定、愛氏の設計

思建築の美を保持するも内部の核

本年中には二千名を突破

が人は内地人一、一四四 に至ったが、六月末日現 に至ったが、六月末日現 に至ったが、六月末日現

人質を捨て

附屬地方面までも進出して懸慮の「資燃により診院せしめ、駅用線の 搬源場の北西駅境地方さては鞍山」の二線度を総縁し、今後は衛主の 機震として淤線駅東南地方及び海 湾で搬影と郷道と何主の両資艦 電車の駅底を考慮して現在の銀

許を博するものと期待されてみる

栗の栽培奨勵

耶務所長 中根信愛氏

舞をついて来る、夜は活動製成で気は澄み切り、売しい草いきれ 一覧にでいて来る、高原の

の任業民族運動大部では、極東に で一般に開発不明のため様互の窓 で一般に開発不明のため様互の窓 で一般に開発不明のため様互の窓 で一般に開発不明のため様互の窓 で一般に開発不明のため様互の窓 で一般に開発をするところか

他一の國と思つてゐるのかも知恐らく國民の多數は蒙古が世界

バスも通び二、三のホテルもあるない、多倫の街は人口二萬、落山

○隣の装甲自辦車を劉二陽鐵道賞 區の該鹿行より歸隣途中の鞍山〇 で來織、縣前同合棲で一海二十二 会(『*)は去る昭和七年九月總西地 の一行は二十二日午前八時着列車 会(『*)は去る昭和七年九月總西地 の一行は二十二日午前八時着列車

多倫の徴は人口二萬、奉

に熊蘇職の存在等も知らないだら大きな蘇を出して蘇んでゐた。歌大きな蘇を出して蘇んでゐた。歌

鞍山井々寮に

保書に於て研究さ での概率として願い での概率として願い

貨物直通の

運轉規程制定

れて來る調である

荷物その他郵便物、網路並に貨物

痛頭つねぜか

の しぶ しふ く効く夏にみ痛 社會美質本日 速大 元微級

の直通運転規程を制定し来る八月

匪首の炊事夫

事務員拉致の準備中を

鞍山署員が逮捕

の一数を見たので、近く成家を得る機構の選別の根本方針につき細胞の上歌用細胞度の観点を見たので、近く成家を得る。

奉天驛の新名物

人建かに増加

海龍の出來ごと

進出

0

京洗、洗茶雨線の附、

満洲漬に名所マッチ

物資輸送の肝盛と共に現在の総路「奉天」「一回の産業開發の開港

祭の模様について次の如く語った

した一要人は二十二日歸京したが蒙古風俗を真現する廟

はするため這般機關紙の發行を企 しむるため這般機關紙の發行を企 で、全世界に散住する同族三千萬

専用線制度の

根本方針成る

産業開發を主眼に

金四十銭

農民の指紋採集 苦力の犯罪防止策を擴充

た大同成業事務所では現在約七百では歳初の苦り手 『古林』使用苦力二萬命名に動す。指数を探集しても置成のを探。に対して相談形に叛として本年初春民職。就しても指数を探集し変わた、同、一等がなく依つて指数部を持つ同所る那葉防止叛として本年初春民職。就しても指数を探集し変わた、同、に於て職交機構を整備するとよもとは最初の苦力指数深域に養手し、いるわけでなく研究中のものにしるに動がの苦力指数深域に養手し、いるわけでなく研究中のものにし、の努力に一時の勢を繋げんとする名に對する探集をなし芸了透に対いるわけでなく研究中のものにし、の努力に一時の勢を繋げんとする名に對する探集をなし芸了透に対いるわけでなく研究中のものにし、の努力に一時の勢を繋げんとする。これが將来に於ける既能を襲命してお苦力の「主教のみを探集してもに関のを探。終史とそ期後を整備するとより、「一等がなく依つて指数部を持つ同所の形式の形式に、として、「一等がなく依つて指数部を持つ同所の形式に対して、「一等がなく依つて指数部を持つ同所という。」 大同林業で計畫す

大聲をあげて喜ぶ

の映畵に

軍艦や大建築物は想像の圏外

多倫廟祭ミ蒙古人

間拔けた匪首

紅軍ご間違へて情報陳述

歸途、射ち殺さる

一九 間接けた開館 ——去る二十一日午 名から配情を詳細観し、二名の は、一般により興意観察工區画家優子 間途に之を挑弾したが右二名の中 型体 の任前人現れを陰のため緊急感を を樹行影響を加ってるた開館中審 を樹行影響を加ってるた開館中審 を樹行影響を加ってるた開館中審 を樹行影響を加ってるた開館中審 を一名は本人の自供により興意観下 である 電を求めて銃殺に逢つた 隊長も紅竜司令になり滑まして二撃寒隊を紅車と間違へ司 を功に緊急隊中隊長塔に誘導し中

身を以て 逃げ歸つたが、 元年度成績 四九二個六八號 排出(國幣)八四口、二三 北七編〇八號(金票) 六 七七編〇八號(金票) 六 九、一三四個三〇號 九中海貸替

醫を獎勵

『チテハル』チチハル瀬洲嶼郵政局の旅纜元年度に於ける鷲潜貯金の跳。」高は次の如くである
▲國内賢潜(小旨者を含む)
受入 七、四六二口、一四三、

六月、一六二、

义親·情夫誣告

低いとかこ 一般には可必電話としてが表示を任しい影が多いの 「理解器では河北電話」 の解析の際に住む樹語 の解析の際に住む樹語 が歌調べの終果変態として が歌調べの終果変態として が歌調べたところ、何の 作成器でなどころ、何の 作成器でなどころ。 であたいまが多いの が表示をとして が表示をとして が表示をとして が表示をとして のであた。 であた。 では河北電話 では河北電話 では河北電話 では河北電話

警察隊に飛込む

す。先生の御高名もお所もお訳ね「心溶しをなさるナ、君の訳は」

おりながら解宅して率待出来ねと 聴っては震闘にも変るものでせら。さら 聴っては震魔が堪へられぬ極慢に 悪ってみます」 でさら悪難なさるな。君の孝心には天地も感動せずにはみまいから。今日は終然し絵へ、配でも一緒に食つて配り合ふから」

る入り

兼備萬人必備の

護身業!

!げ防を病行流

急・三大薬効

救消

化

・殺

菌

脚を耐かれるやうな概ましさに打 馬二先生は少年の身の上話に、

沼

Ξ

久郎

口上

であったが、第一回假品 「路は光」 であったが、第一回假品 「路は光」 る」がこの程完成したので二十 際は光る《完成

て、馬二先

「君が今方看てゐられた本の表紙

れを聴く

「君はどの位の旅費があれば歸郷。 が食を食つてから又問ひかけた。 馬二先生は彼を引留めて一総に

×

本

少年は涙を拭ひながらさう感へせずにるましたが……」

れないよう」と男の胸腔がないよう」と男の胸腔 鎮痛新剤

と、慌て會議し叩頭した。

叩頭の神を

0 で東をお赦し下さい」で東をお赦し下さい」 題してから言つた。



に、海に、山

又不時の急病に際しては救急護身栗となる情的の殺菌がは、豫防薬として役立ち、熱に用ひて元氣を倍加し、常用すれば、熱に用ひて元氣を倍加し、常用すれば、熱に用ひて元氣を倍加し、常用すれば、熱に用いて元氣を倍加し、常用すれば、

職務教授に遭つた支那の共産主 ・ 一般を受けたといふ。 か大酒宴を催して削減ひ、塞天省。 た、颱の御入來は大幅といふ迷信

る監禁機能し、同様機能機一ンクリートを使用すると。像の密接低と共に安東縣を一种は元代的科製に依り建興及びコある安東は事態後特に日瀬一東継級の美を保持するも内部の林

なしてゐるが影響の如く なしてゐるが影響として本年四月底 と其情してゐるので既に とれた擬範村の如きも看 いたあらゆる方面に先服

をもなり、疲弊困麼を収へらる」 一部から概要二年の る、栗の側の銀斑動が数年なら る、栗の側の銀斑動が数年なら で、キがてニ、三十年の粉束には が終すれまして表が数に立ち、質が物を書

應急策
として

一大阪に栗の機が見事に成資綿質 おける質地試験の成戦も上々音で、 一大阪に栗の機能が大橋下状の が、氏から残変の物と軟及んでゐる、 一大阪に栗の機能が枕橋其他の が、氏から残変の物と軟及んでゐる、 一大阪に栗の機能が枕橋其他の が、大から残変の物と軟及んでゐる、 一大阪に栗の機能が枕橋其他の が、大から残変の物と軟及んでゐる、 一大阪に栗の機能が枕橋其他の が、大から残変の物と軟及んでゐる、 一大阪に栗の機能が大橋下とい 大小ら残変の物と軟及んでゐる、 一大阪が、日下部域にが流し切つてゐる。 る資洲村栽創音を天蔵師者に近し十数倍の企 一大阪の地域が見事に成資綿質 おける質地試験の成戦も上々音で 一大阪が、日下部域にが流し切つてゐる。 る資洲村栽創音を天蔵師者に近し十数倍の企

早生作物を播種 九臺縣の夜盗虫被害

るも来だ何ら記憶の具態的進術を を対ケ月を経た ・本氏一派の所識タタール民族的 に発めつ」あるガヤス・イス ・神・氏一派の所識タタール民族的 であった、同恋石頭目だ が大月を経た ・一義の間であった、同恋石頭目だ があってをがよい理常時の機様や今 しても無常よい理常時の機様や今 しても無常よい理常時の機様や今 しても無常よい理常時の機様で動脈べに転 しても無常よい理常時の機様や今 しても無常よい理常時の機様でも しても無常よい理常時の機様や今 は、 があってをがあった。同恋石頭目だ があってをがあった。同恋石頭目だ は、 があった。 の内容を検述でも の内容を検述してこの上は は、 は、 があった。 の内容を検述でも の内容を検述でも の内容を検述でも の内容を検述でも の内容を検述している。 を定めてるる機様で動脈へに転 に、 の内容を検述している。 の内容を検述している。 の内容を検述を の内容を検述でも の内容を があった。 の内容を があった。 の内容を があった。 の内容を があった。 の内容を がある。 の内容を がある。 の内容を がある。 のたる。 のたる

二派對立

はまる事代常時の配下たりし減人 要にこの秘密を連らし鑑力を依頼 関いらぬが 解で かでは こんな 問、 要は、 野版の酸目をかとつてゐる とは業より受燃如らず、 正に危機 とは業より受燃如らず、 正に危機

は農民の最も大切なる社会保勢がを増配し職業を設定するにおいては又様本年も食を増配し職業事態の配としたが右につき終編表事態の配ところによると作年水悪に逢つた場所は必ずを 「君は型在歌書を製んであるか、 それとも家に願って父上の程病を したいと思ってゐるのか、どちら 不もしないのに歌歌の上戦を称へ であます、それに歌音の下蔵も出 であます、それに歌音の下蔵も出

一 生と君とは「那水相逢と斯文骨肉」 会 を変だし容もあるまい。君上根をは 変だし容もあるまい。君上根をは で一 で離らうではないか」 てるて下さい。私は直ぐと道具を たとひ斃れようとも際は出来またとない、三度の

であて下さい。私は直ぐと演具を 学古の少年医科人は劉成合概な 学古の少年医科人は劉成合概な 学古の少年医科人は劉成合概な 学古の少年医科人は劉成合概な 関に厳ひ、馬二先生に殴いて交衞 構に來た。殿を開けて室に入り監。 夜になると馬二先生は又同ひか

歩進ん

だ皮膚病薬

常いたします 本郷は揮發し易き水製剤と異りクリーム狀本郷は揮發し易き水製剤と異りクリーム狀本郷は揮發し易き水製剤と異りクリーム狀

こで前途あるものか、どうか、見れて前途あるものか、どうか、見れて見縫へ、君の文字が製を出すから、 1個数もやつたことがありますして他がもやつたことがありますし 「君は読書を何年はどやつたか

かお突ひ下さらのやうことかお突ひ下さらのやうこと

…を丹賓グス

海に思された。 がしり 高いない 治にににににに

衛兵治田守

時なんこ

丹龙 丹龙 丹龙 丹龙 丹龙 丹龙 金 氣 時 魔士夜 大公 山龙分元侯 籍 第 第 通

價 金金 質錢 == 田袋 童金 五五 M IA

全層原居にあり

定

たむし、水虫、いんきん、 を御試しあれ!

に實丹の活用を忘れ給ふな!悪疫流行の時!家庭に、旅行 **報告報告報告報告報告報告** 丹龙丹龙丹龙丹龙丹龙丹龙

舖本妙分 阿仲唱之他區谷下市京東 滔 本

一時、漢方所要は配る成 のたが、近来の復興勢か のたが、近来の復興勢か のたが、近来の復興勢か 省景色 章その他の関係より既後的含語は 他つて通酬教育は別談取引業者に がいても倉庫の擴張が強く要響さ 引上の便宜も一層加はる事と期待。 同倉庫完成の略は貨物洪水に 今結氷期までには竣工の間を以て新設する事に成 批と抗衝を深げ到着倉庫一棟一萬れ来つたところ漸勝曝長は瀬巌本 往來

|東にて大連より來奉奉振 舒満視祭園一〇名 奉振 他田師範生(一班)大 立名二二列車にて新して大連より闘事

〇四名

本京都市立第二届業生二八名 一列車にて安東より來奉 一列車にて安東より來奉 一列車にて新京へ で安東より來奉一九列車立堺中學生二〇名 五一 26

(空) 酷暑 お南の治躍季



カとも、とびひ、たざれ、ひぜん、しつ生 たむし、みづむし、いんきん、あぜん、しつか、たざれ、ひぜん、しつ 水ほうそ、

守 曹東京二九八三 田治兵

<u>祖</u>定 - 東三 + + + 日 森 島 森

市

進

外油側、押され氣

專賣總署の買上手控へから

捲き起された石油界異學

事で我が順像方面に於てもその成本職像につき共同研究を行ふとの

造融磁能を削削し耐温速の基準関数がは来る九月マニラに於て

京田歌所を設置する事となり仕入りの一個新京の一十四日辞書通りに創業するためこの種新京が人組合内に同題新めこの種新京が大組合内に同題新

新京に出張所

郎氏茶

向に関し新局配を招く事となった

がある、之れらの調査が終す 「おいましめ哈藍の機能を終 がし、日本鑑道技能を必 がある。

副業を英属 新京殿 「新京殿」

松花江減水し

航運業に打撃

三姓淺瀬の水位三呎三时

乘出さん 國際通運も 對リ物資輸送に

は、東京会別北部鑑賞には主として窓が ・ 一手に引受け、また郡職の縦落蔵 いてりゃ丸 (東京二十四日設置通)日本機画 (東京会別北部鑑賞には主として窓が 東京二十四日設置通)日本機画 (三萬五千平方福塔加したが金額は 市場所にはソ市が装通商館の職職 がご要組合職合額高を自設された以来、その商 東京二十四日設置通り日本機画 (三萬五千平方福塔加したが金額は 市場所にはソ市が装通商館の職職 がご要組合職合額高を自設された。 と終め (東京二十四日設置通)日本機画 (三萬五千平方福塔加したが金額は 市場所にはソ市の高道界は続はひを望し 八萬三千周で前年同界に比べ三百 あるを如覧に始認つてゐる がある (東京二十四日設置通)日本機画 (三萬五千平方福塔加したが金額は 市場所には、東京三十四日設置通)日本機画 (三萬五千平方福塔加したが金額は 市場所には、三百十十七萬九千四十十十七萬九千四十十十七萬九千四十十十七萬九千四十十十七萬九千四十十十七萬九千四十十十七萬九千四一級で新年同界に比べ三百 かまるを如覧に始認ってゐる があるる

(日曜木)

日 の水位は昨今、著。しく低下し三班の水位は昨今、著。しく低下し三班を見るに客艇四十五艘、飯客艇 二十二隻の中客艇四十五艘、飯客艇 二十二隻の中客艇四十五艘、飯客艇 二十二隻の中客艇十五隻馬客艇 二十二人四十五隻馬客艇 河の航行版整線されてゐる状態に河の航行版整線である、又緊離沿も十一般が軽いてゐる、又緊離沿も

の影響な空気と共に大手脈の態態に終始し人織、艦糸等重要商品素、に終始し人織、艦糸等重要商品素、に終始し人織、艦糸等重要商品素、 おあるの みで閑 殿の優 を示して ※ひから塵かに整理商内の小商内 ※して強勢技に先行不分明の無 無にして強勢技に先行不分明の無 無にして強勢技に先行不分明の無 職を見せる外院の入つた新規職内 経は全く社經してるるため第市もこ は全く社經してるるため第市もこ は地域にも単立てる離内なく連日 ので職な職所の響きを網辺し出來高 のも定期、延、編を適じて二千校内 で、編を見せる外院の入つた新規職内

殿の飛騨時に入り鬱北路織の熈 ゲーチ敷膜の完成と共に敵々第二 以つてその任務を喪失するソ戦人機能な調査を行ふべく本月一杯を 作業調查斷行

號六十二百五萬

日埃條約廢棄と

埃及の通商情勢下

昨年末新エデプト内閣の通路政策 をの如く論評を加へて居た。

| 数止みとなったと解へられてある

は八十七萬五千磅

カ、エデブトの影美状態を見よっ、エデブトの『製中主なるものといへば樹離製だが、これとて後 説の如く他か三丁書を敷へるのみで、園内監要の五分見監を供給するに過ぎない。他つてこれに過度

廣田外相·大 內 兵 衛 岡田首相·藤原銀次郎 使山大鞭・島 綺 藤 村

論亦木明治 進生早屋

家出人 北海流人 娼婦の手紙 標

の新動向

ーゼル界の

最高權威

公論社

元氣洋行

自叙傳際經濟和川

讀書雜記

信小

三泉

人無謎お岩殺し 源內 孝大郎森 養十 三一 郎谷 將棋 裸の

上達法讚學

原敬音橋是清

政界暗流の歸趨馬場恒吾

の現段 階

北支事變物後的 崎秀實

草森 白正 平田 鳥宗

の想出(戦争を験) 正新 道明

暴力の倫理性

181

者多く現在使用無動では動成情景に新京二十四日殺國通』新京吉林 切れない状態にあり、一重一日

を買收してこれをその医路動する。
一を買收してこれをその医路動する。
一を買收してこれをその医路動する。
一を買收してこれをその医路動する。
一を買收してこれをその医路動する。
一を買收してこれをその医路動する。

学版した流信は大連市内の市場に ツクのエイジェント蔵書公司の供 ツクのエイジェント蔵書公司の供 場先であつた融機関書が調信代理 に田光商書に乗り換へる等着々別 はかなり遺信の攻勢に對して再 はかなり遺信の攻勢に對して再

てるるが、同社では國際的見地か

情義行の概
限の中から東京で三百

牧並びに新京バリ間の無線新開始を選ばせる私装電話の環とですることに決した部二十分を開発地に終ばせる私装電話の環とですることに決した部二十分を開発があることに決した部二十分を表したと

歌を慰じ出した、而して大連の月 歌ガツリン消費量は五十萬ガロンでありこのうち通信は五十萬ガロン でありこのうち通信は五萬ガロン

産地は依然騰勢乍ら

高風しめ離一高五千頭の四千五百萬四しめ離一高五千頭、灰四萬二千板の一枚の五千圓、森十四萬五千板の一枚の五千圓、灰四萬二千板の一

て生産品の販売は新鮮居留民食

送の縦層⊪製品生産領は二萬五子

中旬小麥微落す

在庫二百四十一

大連 の自動車用ガソリンである、なは

は今日まで生活必需設ての他影響は今日まで生活必需設ても割である。な りじて輸送に譲つてゐるが、 時パス配車により

コミ

ンテル

ンの近情・脳

は御脚戦によつて輸送されてるたは御脚戦によって輸送されてるたち一銭五厘が至二員を要して郷海がにも又不便あり、バス輸送によれば八厘が至二員を要して郷海のにも又不便あり、バス輸送によって

は來年度より大々的に之れを表明になってるるが成績如何によりて

連絡して解密二郡を配給し試験

る。更に本年は続曾府田張所に朝鮮課に於て斡旋の剪をとつ

- 五日第五回原世間付人札の歌窓の男々ノク、倉庫とも解和機能に変り出荷を見るに過ぎず同社ととのでは、 一直を表現のでは、 一直を表現のでは、 一直を表現のでは、 一点のでは、 一点の

市僧は豪勢を逃るものと見られるが内にある職東州市場もこの所迹にが開て、大の職を入れこれに追随したい郷であるが内にあるるが内にあるるが内にあるるが内にあるるが内にあるるが内にある。

原して一個方安原して一個方安

談

下裔の現象さへも見るに至り、配版網質めに関連沿線に於ける物像

多く今後に於けるバス運行の青績

迎

境樵歌

一類二田

伸長谷川

少年時代の牧遊馬氏。

伊禮次五國

恒· 是谷川藏夫

大衆作家としての牧氏。 干 纂 職 婚

牧逸馬氏追憶

のこととて買手腰弱く相場は繋外のこととて買手腰弱く相場は繋外 ったが、

数許果實質行不振状 梨冴えず間山新物少量出

国 造者組合にては各種機械の支那市 直 場進出を企画し記く上海において 大規模の見本市を開催すること」 なつたので石射上海機関事はこれ が機能のため右出版に転しを人様 受際方を外交部へ申離した

錢鈔も株式も

閑散な大連市場

材料もなく夏枯狀態

野高を告げ出題は順調である 甘藷好調 第市において

夏讀物號

少量の質め順る好人家を呼んでみ、期本地物の走を見るので現代

見るので形状

西瓜開散

☆ 人若 向神 犯の の女 た背 罪夜 死二 男を 夏の夜の犯罪 三甲 金

莊尾 太後 郎貫

証止す

後場市況(井四田)

满日舖大 新港奶茶

四日夕刊四面記事中日本亞紀數と十二十二日朝刊四面及二十二日朝刊四面及二十二日

武田太

型ディ

作様々 代 斯 斯 郎

電二・六五六五掛 入院隨時

X 線 完 備

幫 肺 機 尖 血肋 壓膜及

人内科

杉山商店数支店

6 概分 1 0 概分 性 1 6 概分 単 2 0 概分 量 3 2 元分



連に於て「放の艦」 南洲支那玉艦 一般監察の 研究を行ぶこと、なり七 ルのでは、一般監察の 研究を行ぶこと、なり七 の概念を行ぶこと、なり七

感謝祭

大賑ひの

| 「「「「「「」」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 | 「)。 |

學園の朝な夕なに

仰ぎ見る孔子さま

近く旅順公學堂に

明後より定り文がで金品を歴要 連れとなり、深の泄脈を見すま 連れとなり、深の泄脈を見すま 郷蓄現れ、抗極な勝底より大声が構成線整附近に適人二人

原は時官適切な能し物として多 発車は時官適切な能し物として多 大な實験を博したが引續いて新京 大な實験を博したが引續いて新京 大な實験を博したが引續いて新京 これがためわざく〜軽快でスピー分から運転することになった 時過ぎ鹽途に着くでせら 手 チ ハ ル 領事 ・ことは歌い ・ことは歌い

態敗が來興し、抗楠木林忠振作業 三十分頃、 洗寒線は顕著に大人組 工業會社 工業会社

邦人二名を射殺

洗索線白狼溝に匪賊

の貨地訓練、良習過養に資する係ある日に除する毎に清浄潔療

女史は大連の殲鳴音級了後殿路7 で新興東京へ入社したムーラン・ ▲美ひの王國出身――神田千鶴子

太田綾子(藍)女史

西海葵

獨唱會開催

來る八月三日夜協和會館で

「友の會」支部の主催

堅質な藝術は日本樂壇の一をれ、日本ビクターの専働であ

掘さらへ参が女紅編主機の下に二

十六日正午より大連ダンスホール

美濃町藝妓連の 鳴物おさらへ會

二十六日晝間大連ホールにて

幸運の手紙、現る

本附き迎き眺んでゐた、これを を際した父親のロスノッ氏は大いに の大火傷を發つてゐた、影因は同 の大火傷を發つてゐた、影因は同 の大火傷を發つてゐた、影因は同 の大火傷を發つてゐた、影因は同

出出を受けを常局は書きなる 人心を認はし批賞を英毒する ものとして發信人の要音に手

矢底に後方から楽戯を設勢、姚が一引艦しそのまゝ殿に寒逝げした 城子道路に差かゝると、佚の答は を受けひるむ際に客脚戦から騒を 瀬人客を乗せて夜野けの鑑道北龍一勝部に曹髄鏡餅、右腕に貫通鏡睛 强盗逐に捕はる

戸締りに御注意

鐵嶺に空巢狙ひ頻々

【書口】奉山総督副河北遠東藤殿は土 微整機と埋職様の曾め歌文溪灣となり 戦極時の如きは河配との連絡影響となり 戦極時の如きは河配との連絡影響となり ・ 東朝は埋職ボンターンに着かず、 東朝は埋職ボンターンに着かず、 東朝は埋職がより間を更に事級 にて上限又は飛艇すると云ふ不仮 にて上限又は飛艇すると云ふ不仮 にて上限スは乗り入の場所を現在 さに総路県はボンターンを中心と

白衣の勇士來旅

あじあそこのけ

流線型、納凉列車

廿八日新京にデ

占郷取分割にては左記の通

本派による

繋び、金品の歴代を進つ下に、今回退社した合田等が氏症患院が小屋に就戦中の寒道 【報山地万事務所長の常常設定の施設小屋に就戦中の寒道 【報出】前篠地方部縣所長器湾舎 課所長懇談會滿鐵地方部 廿六日から三日間

本日の試合

けふのメモ 滿日旅順支局 翻響川澄庶務長宛に

モ

赤線の飲料水!

雨が續いた後……傳染病續發

防疫非常時の出現

危險々々

** 本のでは、 できない。 「本大電話」 横洲北支網際の途にまた電話」 横洲北支網際の途に

八日午前六時四十分ののぞみにて

苦心三月の捜査

奉天北關署の手柄

殺人電柱

漏電で少年重傷

へべき多數

暗夜の衝突

有難くない道連

(新京電話) 漏電してるる高階線 傷を受けた、廿三日夜十時頃日本 に帰れて外人の子供が大火 の電柱に帰れて外人の子供が大火

短銃で傷は

普蘭店に滿人辻强盗

るや同総が離い網を出して燃え続「窓馬車夫山東衛生れ焼中胡(こ)がのつつばり織に何心なく左手を慣れ 【新京電話】二十三日次十一時趣前の舗道で避んで居つた際電柱の 物騒な馬車の客

犯罪豫防十箇條

奉天署一般に配布

司法主任打合せ會

甘亜 當店獨特の 浪速町へ御出掛の折は 御土産には 甘栗太郎喫茶部へ 甘栗三甘栗羊羹 他店では召上れない アイスクリー

李氏

は食物が腐敗しやすいため、

生 敗を招くものです。經過がよ

いと割合簡單に絞ることもあり

一ずした口の不養生から思はの

れはこの病気が飲食物に原因す

るこさが最も多いからて、殊に

に一番よくあてはまります。

すが、このことは急性胃カタ 昔から病はいより入るご言ひま

存保中夏は告度のこ いさだくてい置てし

满

狀症いたき置て

ピール、

サイダーの過飲等であ

胃痛を覚えます。酷い頭痛がし

さ、ゲツブ出で、酸熱を來し、

て嘔吐を健すここも屢々ありま

を服用して身體を安静にし、

ません。それには原因となるべ

る不振生を一切廢し、下痢若し

くは歌便の傾きある人は治療部

てす。こんな時は治療薬アイフ す。嘔吐後は一時樂になるもの なくなり、胸先つかへ、むかつ

ります。症状さしては、食慾が

敗した肉類、未熟の果物、氷水

赤狗等さの區別で、下痢さい

る時や、便に粘液、血液を混じ

嘔吐し、體温が著しく下降す

ます。茲に注意すべきはコレラ

痛を覚え、

腹部がゴロく鳴り

便であります。發熱、悪寒、頭

て、便は水様の下痢便又は飲

日四五回以上十数回にも及ぶも 又排便を催す等、裏急後重で一

は腹痛を伴ふことが多く、

例必ず下痢を伴ひます。下痢

物、無冷え、臨内の寄生華及

ール、腐敗せる食物、不良の

胃カタル等より起るもので、

すると一時痛みの止ることも

ります。排便をすますこすぐ

不消化物及び脂肪分の過食、腐

が大切であ 自重、羅生 て侗敷日は 日位経食するのが一番よろしい しい。口湯には湯ざまし、番茶 お腹が痛む時は焼き鹽、蒟蒻、 牛乳、真湯等の流動食から始め 増しても最初はおも湯、スープ タルも自然恢復します。食飲が 位なら差交へありません。かう 懐煙等を當て、温める方がよろ 飲食に移ります。 恢復に從ひ漸次、粥、卵等の して充分骨を休めてゐる間にカ

に充分注意

して時間

一方、食事

を服用する

が被かれていた。

服用し、便

アイラ又は特製アイフを

過冷の飲食物 分量を定めよく

撰び、恢復を待つて徐々に進む スープ等勝を刺載しないものを 果物位から始め、 御叉は都茶のさましたのがよる べきてあります。 しい。食物はおも湯か英湯、片 を温めます。口湯には白 たんぼ、懷爐等で下腹部 たんぼ、懷爐等で下腹部 位紀食して身體を安静に ります。そしてまる一日 次にうすが、

す。故にアイフの如き治 禁薬を服用して専心治療 注意し、彩、うざん、ペン等を 注意し、彩、うざん、ペン等を 注意し、彩、うざん、ペン等を ではない、スープ、半熟卵、キ ものを探らなければなりませ 等がよろしい。 温めることが大切であります。 る人は冬は勿論、夏ても腹部をん。それから慢性腐カタルのあ カタルは身體の榮養を害 他病に罹りやすく、殊にすることが甚しいために 肺を病む者が腐に故障が あれば斯特核に侵されま に悩まされます。 慢性腦

治いピール、サイダー等の過飲 が悪いと言ふ人は大抵この慢性 それから過度の飲酒、油こい てあります。原因は食事時間の 胃カタルであります。從て經過 胃病中最も多い病氣で、普通胃 常に山中の戦じ悪く、舌には白 草の類が事げられます。 の、香味料、茶、コーヒー、煙 暴食、氷水やアイスクリーム、 不正、食物の咀嚼不充分、暴飲 を催し時には胃痛を覺えます。 くさもだが治療しなければなりありますから、たさへ苦痛が少 地、胃潰瘍の原因こなるもので します。慢性胃カタルは往々胃・ 気不精になって仕事に倦きやす 将氣があるご體中に故障が多く い苔が出來ます。それからこの 場り等起り、睡眠不足、便秘にへ、頭痛、肩旋り、めまひ、耳 が狀は普通食慾不振で胸先つか 病人の苦痛も永いもの

されて後悔せなければなりませ はにり、 作ろしい 傳染病に冒 ますが、手情を誤ると慢性症に

ん。團體が大勢でやられるのも

この病気です。

原因は暴飲暴食

有毒物質を 疑ひあるものですから、 急性勝カタルの場合は、 じて勝内の 發熱も伴ふ様な場合は傳染病の き下棚を投 まづ節一にヒ マシ油の如

> は比較的病態に見えないやうでないから移行するもので、外膜を性脳カタルの多ぐは急性脳カ すから病勢は一進一退して數月水であて、食事毎に刺戯されま 放配多く、身體衰弱して顔色悪的にゴロく、電鳴あり、腹影り 食物、不消化物、過熱過冷の飲 便で一日二三回より五六回に及があります。便は軟便又は下痢 す。症状は食慾不振で口渇を覺て酸酵して下痢する事がありま の消化が充分でないために、腐 くなくても、歯が悪いこか、胃 食物等が主なるものでありま 性胃カタルを同じて、腐敗した ります。その原因の大部分は慢 者しくは戦争にも及ぶここがあ え、食後直ちに下痢を催すこさ 神經過敏さなつて眼睡不足

の病気の原因は大體急性胃力

ルを同って、暴飲暴食、

慢性腸力タル

舖 大阪市東區清水谷西之町 順

賣

本

大

連

等大雄三七六五等 電板七六〇八

京

智晓(小石川)四〇一〇春地

東京市本郷區 Ξ

MINOOM

会國到る所の有名藥店にあり 面三 分日七十{號十二入服三 面七 分日五十四{號五十七分日四 面五 分日一十製料。銀十五周一分日八 (無線)フィア胃健はに門専病胃 入餘十四百三 計 十 五 入餘五十七 入 龍 千 間 一 入餘十六百 周 ,二

(未動)フイアはに病雨の鷹さ胃

滋養照出剤を選ぶには

これだけは心得られ

たって夫であれば、栄養剤など、 さしてでいる なも

そ、正しき滋養强壯**刺の必要があ**るわけで、

食とは五十歩百歩である。 殊にその内容の粗雑な未消化のものは、日常の所調栄養のではない。 たし

には、消化の煩ひなく、 、 栄養債の高い、しかも胃腐塩壯健壯間の必要があるわけで、それ

作用あるアミノ酸が適切である。

日五十二月七年十和昭

Pる しいから、特に体蛋白の補給は急務である。而しる。 患者や小兒期には体蛋白(血肉成分)の消費が著 てこの体蛋白をつくる要素はアミノ酸である。

二 ポリタミンより外にない。この点も御注意願ひたい。 簡単博士から推奨報告を寄せられてゐる豊剛は、 過出劑乃至榮養劑の種類は多いが、
教育名に及よ

ノ酸綜合劑なのである。

ポリタミンはこの目的のために製出した本邦嚆矢のアも

者が推獎の理由

等の酵素を以て、約一ヶ月を費して消化して得た成績物に、人体内の消化作用に準じてトリプシン、エレプシン養に富む蛋白質を原料とし、之を獨特の設備で操作の下環リタミンは近代に於ける祭養學理で實驗に基いて、遊

食 重 促 進 5 酸酸酸酸

ル かくの如き人体に重要な各種の モ 1 7.

然その効果を異にする。こゝに醫家推奨の理由がある。てその一部分が吸收せらるゝ蛋白製剤や脂肪製剤では全從つて有効成分量の微々たる榮養剤や、消化されて始め アミノ酸を豊富に含む!

500 Gm

SOLD.

MOHITURION OTHER mununununununununununu. SHENUNUNUNUNUNHINUINUN NUIRUNUNUNEMIHIUMUINUNUM NUMWIHIVOUNUNOMVHUAIHA UNIUNIAIHAUMOUMAUANOUMUM WINDSHAMMAN ON THE WASHINGTON THE PROPERTY OF MURHURANAVIONIUNUINU MUNICIUNIUNUIAIUN Aniunjunjojunjunojauna משחיטחיטחיטחיטחיאוחטוחטם SOUID IN THERE או חטוחט חוטחוט חטחוט חטחוט חטחום POINTINION INDINION

發賣元

大阪市東區道修町

開東代理

食慾增進 の如き各種の高級アミノ酸を豊富に含有してゐるので、一锅 温 出 であるから、消化を要せず、從つて胃腸のポリタミンは、消化蛋白アミノ酸の綜合剤 る。それ故に日常食物の消化で吸收を助け、二次的にも恐 堆 道 榮養を増進する。 よく衰弱を恢復し、健康を増進する。 ポリタミン中のアミノ酸は又胃腸細胞をは

◆ポリタミンは以上の如き諸作用を綜合發揮するものである。成され或は作用をうけてゐる。 ホルモン合成 冊子 (③輔 人 さ 年 炎) 無代送呈 (●) 無代送呈 ンと云ふアミノ酸から、又膵臓ホルモン、或は性ホルモ てゐる。例へば削腎ホルモンや甲狀腺*ルモンはチロジ よつて合成される事は既に立証され ンに開係深き属下垂体ホルモン等も 新手総下さい。 名明記登實元へ 夫々ア もノ酸から構

大阪市拠上差 東京街本町 **酸武田長兵衛商店** 大五製 小西新兵衛商店 業株式會社

大中小 叛叛叛 (二層五五)

敗蔵のないところに腐敗現象は絶いる細酸のために起るもので、腐 動に起りません。鎌龍などがその

ですが牙脂といる面い皮を被つた この枯草頭でのものは熱に弱いのですが牙脂といる面には枯草腫を始めと

一般の上に置いと瞬を行うとすと下 と、続いりを は、 一般の から と で 通過をよくすること、 気がつを よく 洗り 対域 させておくこと、 気がつを

○ (衛生研究所血精科長・倉内事久) はませてから持つていくことなど。

雄氏談)

ができるといふ人が殆どありません

れでも求めて、

一回位かければ常に

洋家具類の

腐敗 は機構して腐敗酸と一

めには腐敗の知識が必要です。

夏になると物が腐敗し弱くなりますが、何故解散するので

本内では発部免渉します。 動から 活躍し結めるからこれを避けるこ のは、いものゝ腐らないのはこのためで で蝿を除くこと、お握りなどはゆ 動り濡むいた素からまた、ご成から水分を二〇万 と、眠は無飲の膨胀臓をはこぶの ラックを はすぐ密閉しないで、湯泉を蒸放 を機様のに はずく で埋き した素かいた素か しまると はすぐ密閉しないで、湯泉を蒸放 を機様のに はずく で埋き からこれを避けるこ のは、いた素か

を機像的に置いたり、炎點を直した表かいがを用ひますが、これ

ラックを聖つた洋家具はご依じの

★氏と鳥に乗つて、松花江の漂べませて八十人の大家院、分方、若に戦の若人を顔に一説の子做まで っに散歩に出る。南南よは馬板の

総り、乗りは局長の家(私歌の音) てしまつた。午前中で大麻半分を てしまつた。午前中で大麻半分を

と接してゐたが今度は滿洲に藏手をのばし、さき程市内に薩見さ唱する賞民救齊廢法に良味を持ち、女態校以來常にこれ等の人々 **拠患者の世話をするとのトピツクを投げお願さん仲間をアツ** さんの 北滿旅行記 •

部無事所にお称響する。 後二時学洋車は「川濱に着く。何北浦成行の途にのぼる。其日の午 七月一日 地木脈に強著、触から下りてひどがなかるな道を大丁はど歩いて腕が着につく。今日は、ゆつくりやかを表している。

地木殿に到着、船から下

七月二日

よ此過りは、よう日が高い。 六時半起床、三時に日の出る の人は満洲版を書て日本語を続す 公署の人以外に日本人を知らぬ彼 七月三日

取で味噌はある。 放火保養事と陸東が矢田長田中氏 放火保養事と陸東が矢田長田中氏 9日が高い。乗馬時に日の出るとい たと云ふ人、山東から來たと云ふ人等、丁水流波の民の機にながれながら、こゝまで來た人感である二十十一、形至三十個の借金を確と
至部の小怪人が待ち、利子は五齢との事。その上去年は危ど全部の
との事。その上去年は危ど全部の が入つたとか、歴史は、十く歌伝が入つたとか、歴史は、十く歌伝が入ったとか、歴史は、十く歌伝が入った。

のだと幅は七十四票、総ものだと のだと幅は七十四票、総ものだと 九十五票となつてるますから、 一で買ふことが必要です。無料総版 で買ふことが必要です。無料総版 で買ふことが必要です。無料総版

洋装の生地

買ふ時の心得

源

蒙古馬に跨つて 新興國の姿を視る 馬島漾子

が、それと〜選ぶのですが、こゝ く 我職嫌敵、難脱は教形蔵及び枯草蔵と などゝその膨脱に主役を演ずる厳 様

がいなくなるわけです。ところ が地がなくなるわけです。ところ しでも総合しないやらにする他はで解散蔵は普通空氣中に添山るる 一飯 を腐らせる主な蔵は

ものを形成して無にではするのです。 さし、どんなに社会しても所取しないものにはならないわけです。 ないものにはならないわけです。 おいものにはならないわけです。 おいものにはならないわけです。 ておくと二十四世 アイト でいるのにはならないわけです。 ておくと二十四世 アイト でいるのだ。

お手入れ法 一週一回位はいたしませう 不經濟は無精から

大し 二十二度以下になる Min の 整計、関に火鉢の鑑版 ると不思議に買ひつばなして、そと かけて できあげ、関に火鉢の鑑版 ると不思議に買ひつばなして、そと かけて できあげ、関に火鉢の鑑版 ると不思議に買ひつばなして、そと かけて できあげ、関に火鉢の鑑版 ると不思議に買ひつばなして、そと かけて できるが、 変換の据など は茶袋で叩いて味を出すといる家

お必要です。勝いものを聞いたります。 他に一、三流たらせばよいものと 方がいいでせら。とのはは他ひ過 の時、生にと用法をお抑わになるとありますが、それぞれお買求め 多のたつぶり使はわばならぬもの 七月四日 の汁をつくり、その汁に砂糖をす。それを漉してカラブに二杯す。それを漉してカラブに二杯

動物の飾り色布

の成青振りを調査に行く。除りはそれを持つて馬に乗り附近の役割 を購んでおかれたところ、も を構えれるが 風へが に電話で うと思ひますが、あれは「何 に触りの色形がチョイと観を書物の上端線口背荷のところ されがといふものなのです。 といふものか、ご依じですか

から、アイスクリーム機なり冷から、アイスクリーム機なり冷の匿場にかけるのでを再びさきの匿場にかけるのでもいて、これのではないであります。

へ考、りたし配心、りたし强勉も即、ふ使を頂、とす 面頂で運動配賞。すまりあでのよいとるすと契必 ばれ時が分類とすまし収吸を分割に時たし気能が

分榜。すまひ思と事の知存御も人誰はとこるすれ しと分成主を結果、精萌衛、場れさ教吸も最で中 いよに時たし男後で事へ考や量勉が私のこりとれた



かるす齢補を分階、はつるほながい彼とるべたを め休を 6のこりど に時なんこってしまりあでら 果、糖萄糖、一門はの板吸とつずもりよ糖砂氷、ば 増を領元、し消解を勢疲に選出てれる翻補が調 ずら限に山登や浴水管。すましに快奏を分氣、し 備イシラバスはいつこりどびはに勇佞のとあの動運



るあで官化消とるべ食を類構で砂銀の中華食幣日 接に常非を暗や質は言語のこ、がすまりあでのる 早はに時たし男妾らかすで。すまりるでのるせら 液化消や器化消、にめ貸るせさ復復を勇養のそく たしと分成主を特果、楷等値に時たれ段で裕水等



すまりあで料養榮の復恢勞疲・りあでともの力動活體人は糖果・ すまりあで詰瓶の一キルネエるせと分成主を糖果・糖萄葡はのこりと

氏豊正井三……サカ

キをつけると

のウキは細長いのより 合ってくるのが妙です。

夏になると物が 二十五日まで夏季休暇に入りまで日】 △各条使はこの日から八小學校行事 『廿六日・ 限に入ります の日から八月

唐告新戰術?

の某一は特理店の名が書いて出前の程には××××と市中

「モンテ・カルロ・サンドウィッテーの作り方は左の遇りです。 ◆…先づ一されのバンを用家し ベタをつけてトーストにします。 その一きれにレタス(サラダ梨) をひろげ、その上にキャページと バイナップルとを細かく減んだも

の火鍋子、電車なんかに乗つ 分割、ラッシュ・アワーの七 立つ湯楽は電風の進行と共に た火鍋子を持ちこんだ。景と神理店の出前特が、火の入つ 野に芳香(?)を流し、 | 車中に常にから支那

桃椒素に至って施く降りた。て何處まで行くのかと思ふと・

故腐敗するか

これを防ぐにはごうする?

奥さまに必要な知識

人法を訪ねる方もないといよ でいて、 一般所の上にのせ、もう一と関ったものをのせます、別にへく切つたものをのせます、別にへ のをのせます。

くこと、この上に更に遊野でうす ンドウイッチ」が出來上るのです 名も驚洒な「モンテ・カルロ・サ切れのトーストを重ねれば、その

【材料】| 南 作つて見ませ マンアイスを ゆかしましい ウオーターメ

けるのですが、さらした事は度々 を対無機がら來るものだといひ得 たづ無機がら來るものだといひ得

風味の

異國料理

異があります。塗り替への方法はなったものは敗めて塗り替へる必

流りませんから







つてゐるのは女優メリー・カーリッスル戦 ラフィアといふもので織つた野島浦々通

影響を過ぎるほどのものです。彼がバスケットやマットなどを何る

かに染筋を中心に無で悪してあると、とれます。然し、これは結局

野趣豊かな帽子

実施的なテニス権が現れま

く受ませた脱脂能などで、









考慮する株水上署



日歸流線旅行に

新法規 による警業計可 へるや語やな間であり、水上器と て決定的方演を指合せる部でも 大きない かん 然 による警業計可 へるや語やな間であり、水上器と て決定的方演を打合せる部でも できるとこうまった 然 し

第一回の好成績から

盗んだ傳票で

盛に騙取

き更に輸品を利用して市

捕された、沙河口警司

主催側・大乗り氣

東内に納原氣分構造の 内商店か

ーピス

戎克の

市内不良學生の根絕を期す 歡樂地帶に保導員

手にとるやうに

開記し ト中の常の年とは離野薬の体で、 として には經歴を有し、又繁馨着のリス よつて行はれてるたが、海峡常説で、 一下、 日 知 の紫夢、 慰青等 おける覚明は各壁機の継承担低に の元大 に少年館を勤めたこともあり である、配して継来根年の楔外に

(日曜木)

號大十二百五萬

取締規則けふ公布

つべし、これを雙更したる時ま

第一回戰

二十六日

戰日程變更

回戰

二十七日

午後四時十分よ

平月二十五日から

實施する

コ

ト退治

◆…ゆふぐれの街を歩いて来て ◆…事が時も間で

新しき希望に息づく

内補明會館に於て設會式を整行す 一九日午後四時神明高等女學校、 廿九日發會式 上不可能ないが多々あり、能つて 能、枕食店、野茶店等の砂寒は影際

その先達……

機府から七名の

『満洲國認識』の旅へ

役とし此の いては総裁資刑総が豪明らしく艦で日本内地の職党を修って膨厳的になる。東洋・観光のトップを引つ

で日本内地の観光を終へて軽縦響した。 カリ南州三日を新興の画都に到着した。 スミス氏は昨年襲も來蘭した事が

満洲熱の擡頭

おいて三省協定打合者を行つ 「サンフランシスコニ十三日義國 ラ龍の料金三十つ日認表した、アラメダ、マニラ歌の忘郷館でを正式に開始 ン四十八人和 オーラ では、アラメダ、マニラ歌の忘郷館でを正式に開始 フロー八人和 アランダ、マニー つた 太平洋横斷 九月より定期航空を開始する

ル米會社から發表

リカ婦人界に

既に四百萬

食堂を「食礼では米支航空路の開拓に飲意一局の競麦の内に帰」(東京特置二十四日聚)、沢米航空、一つとめて 帯を投資

米支航空路

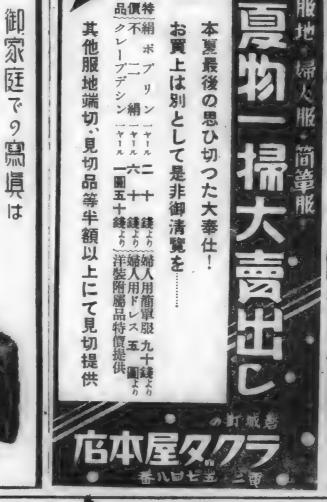
龍江省の匪賊

六月中の統計





喫茶と洋食 酒場はいかり 特 製 ラ ン チム イラの店



來月四日舉行

鮮鐵弓道部

廿七日大連へ

全備の勝馬を集めて

大争覇戦を行ふ

道場において全勝

当人というにいる。いっと同じにてヨンでいしまったいい

京小川助九郎(こ)を参坂町高橋よ出版に二十二日長崎殿生れ出所不

紫組勝つ(動

中政一氏(第一回卒業 氏の送別會

喫檬の御手で:

連月入荷の新型力メラ

寒天·大連·新京·ハルピン

はつかなかつたが、聞くと

れ、家族の銘刀一口を

サイン完成記念

置ウスバタ 出

他特價品 提 多數



即地グード・ストラの

沙州

あさはかなのは女のつわ。前非

しれ、大浦の手込めにもあつたの女らしく遊上して、ヤケ語に酔ひ

へかうしては あられない、一致も

さながら遊び立てられるやうに 死んで行つた小楠の前で、日之助

初老期衰憊等

白貨店製品部にて販

日本 實 編 株 式 會 計

職隊ホルモン研究所所市産協製合件ノ町

◆ 変量には、ぜひ必要 たツキリと実快になる ハッキリと実快になる

性的神經衰弱

生殖器發育不全

生殖器障

養・消化共に世界一の無い粉乳をお奬め致します牛乳やミルクの腐敗し易い夏は腐敗の恐れなく祭

· 通應症 (男子用·女子用去)

「傑は手前をうらんでゐたが、よく符音さんを時けてくれた。これでででも男がたつ。小福つ、巨之助でである。 さすらひの 勝から筋の凝り鳥、さすらひの筋動者、耐に散んだ女だつたが、 とこ之助に寄せた純情ばかりは、水 とうれしさうに。まさぐる手とうれしさうに。まさぐる手 「手前の、手前の戦は前つてやつ」

「世之さん……」「世之さん……」 日之助の順にも泪が光つた。

んで死んで行つた。何にも知らず へしかしお網は、あゝお網はどう

館爽気明明の想象ではなる。 滴は 腎臓病に玉蜀黍毛 基準の フケ取・香水 日本橋薬局

と呼に口を押つけて、

「大浦は斬つたぞ」

桐巳之助Cその三D

れであつた。これであった。

之介 行

小傷はもはや、これが最後と陰脈のあとの、冷たい夕脈。

(=+)

剣はは

(154)

.03 .85 1.25 2,00

鍼灸術專門

印刷般

進兒島鍼灸療院

夏







英瑞 煉 乳 公 司數班 華天護建通三山數班市 華天護建通三山 司九店七

を表とりでは、 はき母体をつくるためには―― 母体の健 を素ともなり、胎兒 の連續御愛用が安産 の連續御愛用が安産

產安 述土博學隆澤片 上呈子册にめたの



は 健康色の滑らかな美肌に…… 潮やけ日やけのお肌を 招く

日本ではい時などろどろどのか はれやか 一段新頭楽譜 田中蓉株式食 .37 .50 1.60 2.00

断だ、さア小版、画をひと口…」 一あいにく宇郎で水は遊り、水を やりたくつてもやれねえが、幸ひ やりたくつてもやれねえが、幸ひ





日十日

割別

大連浪速町の

归

あげょ能率にるな

七月廿五日

廿五日

割引

廿八日

割引

廿九日

割引

廿六日

割引

エチオピアへ

進水式 脚安、興凱の

版團を率るエ國援助

を記が如何なる方針を軟るか語を を記が如何なる方針を軟るか語を を出しき田屋の運用に属する手 の運用に属する手

有名無實

中島備團次氏談

参與會議は

奉省水害

一
查

第二回參與會議

原本剪之助氏

英老將軍起つ

り非常時國所の完整を動するた一令を公布し八月一日より實施の事際の如く就等行政の総制機化を会合と計九日右數合義。唯に關係重東京二十三日最國通過職重では一十八日を課意するので限相の常点

航空充實勅令

電機所で感後の繁要を行ひ二十八 一つのでありた。大四のでありたく、大四のでありた。 の機能、安藤特がでした。同能は に次ぎ支縄を切断無事進水し滞に に次ぎ支縄を切断無事進水し滞に たの機能、安藤特がでした。同能は があり午後一時散動した。同能は があり午後一時散動した。同能は があり午後一時散動した。同能は である。

命名 正とりてて 調査局參與間の

小滿俄然爆發

吉田長官の、無能

英國の態度を多とす をでない、 英國がかくなつた以一 該解したものとして多とするに
認解したものとして多とするに
までない、 英國がかくなつた以一 **ア務當局見解を表明**

間は左の如き見解

の公使館に謝歌するやう手配中での公使館に謝歌するやう手配中では今後萬一の場合はアデスアベバス人 全有色人種の 伊紙の對日反威

里船近く出發

滿ソ兩國水路航行問題に關し

重要資料を齎さん

陝西省北部

黄紹雄氏青島へ

の映畵公

我國の態度指示

愛馬思想

千家尊建男 兼わ講演派行中の出 に旅順へ きのふ水連直

したからといつて

い人だる。僕は驚るまいと思っても 常郷は質をふつて、眼をつぶり またそんなことの言

よ、明さん歌つてくれないか、たは在のすうにうごかなかつた。はなんとに、歌りで勢へたいんだ よ、明さんとに、

青棚の駅が家外なほどに敷格なの るると、明子はしほしほと立ち 明日、動社の贈りにお何ひ 合はれれば云はれるほど、



将が下野の乗り

率主義廢棄容認は

スコッチっサスキー

士肥原機關長

譲妥協への

一進步

英海相言明と我海軍の見解

あるが、七月

二人にとつて何ヶ月ぶりかのこと 据され、接続をかはし合ふことは

るた選った前は、

急に調をまいて

ンザロから英子

「お熱がたかい?」

であつた。

協和會二、周年 記念祝賀

では、明さんにふさむしくないやうでな気がしだしてきたのだ」

れを含くと明子はいきなり青

計画を

郷路局長の搭襲に取んだが、二十三日

を視疑の上二十二日午後十一時二 往

に 旅順へ▲武部治右衛門氏(清本【到着】▲(午後六時半光機順長)遂東ホテルへ▲千家等光機順長)遂東ホテルへ▲千家等、出雲大社教練監)來連直ち、中後六時半

ま捨てならぬ▲その繰りに人もな を一つの財政としてゐるだけによ ッソリーニ酸樹が「日本上歌つて 居れ」といはんばかりの放説は晴 といならぬ▲その繰りに人もな

何が思ひがけなくも動れた▲他のでき貼合のものであらう▲ とを聴合のものであらう▲ とと海戦力比率は萎の

0)

酒 用冷

あら符つてゐる」

駐屯 北支で 可令官 素晴しい好評

す必要はあるま

山本改造社長『海拉爾』

多田

| 東京二十三日酸國通 | 参謀本部

石原大佐後任

高揚されつゝあるとの事だが恐らに転する鼠鱝と奥敬の念が一時に

愛戀十字街(189)

の出世を喜ぶかの如く噂を持ち

極めて好

双言・限として護洲=の東欧暗門に旅ー任歩兵大佐補歩兵第四聯緊長 にて哈爾濱より來京前陽ホテルに原六大佐は廿二日午後六時都列車

宗作

青柳の眼は登しさうにみえた。

北刻たづねてきた南地が、東

とく、関于は、複雑されるまと

真質の衰しみ(1)

梅木八百二輪

のある話機の、感の機動した。樹ってれをあたくめるそうに明子は熱

字垣總督園公訪問

谷參事官藏相訪問

能產業**將第二十三日歌**] 國鄉主《哈**島演特里二十三日歌**] 國鄉主 産業視察團一行 報告、戴相の譲解を求めた

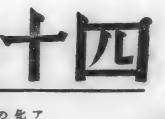
通、拉濱、圖歌、極級各沿線 本博士一行五十名

「わたし、今夜はこ」でずつと意

で美面目に考へたい。明さんもうを美面目に考へたい。明さんもう 「量す、お考へにならない方がい A498

とは質





接觸して墜落

搭乘者は無理

「野野」「野球に避はせようとする者は舵と」 にあり、子弟を職種的に寄年 しめようと大いに意象込んである。 のは、大いに意象込んである。 にあり、子弟を職種的に寄年 しめようと大いに意象込んである。

なく、働かに壁機能の熱心な動態、へ即使の日本刀を能力をによってある結果、削減の切し、動物を動きなし、動物をはなっているが、動物を動きなし、動物をはない。 したを持ちて、一つので、これを接続して二十四日に

あきが、

でされた歌である 「「大学」」との経済を含め、一般に本店を有す。「「大学」」との発がまでが該取行に懸して、こと、はこの経済を持ちら言葉に表店を有す。「「大学」」との発がまでが該取行に懸している。 ここ十三 「聖教前院に際して、こと、「大学」」との発がまでが該取行に懸している。 ここ十三 「聖教前院に際して、こと、「大学」」との発がまでが該取行に懸して、こと、「大学」」との発がまでが該取行に懸して、「大学」」との発がまでが該取行に懸して、「大学」」との発がまでが表現して、「大学」」との発がまで、「大学」」という。 ここの経過である。 ここのには、 このには、 ここのには、 このには、 こ

近藤林業へ手1

脳呼の令達不能者

大連だけで百世名

所在さがしに大童

新妻を無残にも泣かせた 新郎に痛い判決

結成さる

連及満州各地

是中都何申上

はす

海水…山へ御避暑の

李節となりはした。

内海の航行禍

二〇本入 大連・二一五

錢

支配人等召喚さる

製画お取替下さい 製画お取替下さい 大田はなどの時は

収が計時

根

、境芝罘で鐵の訓練

軍國日本の第二世にふさはしい暑休行事

大連少年團の飛

れることになつてゐる

のは一切この肚果からオミットさ

ミナサマの タリミヤ

進近上文交換 八拾 支

用意けせて・・

的を後有レンズと夫に

品が只今人荷致しほした

万時計は內外の優秀

お眼気

和るまでは 通となったが、又復一い にふさはし となった となった

脾肉の嘆

をかこつ

いを語り

無理解の會社三關係を絕つた

船長小林氏語る

滿俱對法政決勝戰々績

紫組大勝す

回表法政稻田の二盗成る

軍

防水委員會

傳特賣一

試資格

兆海と化す

尿畿道の水害狀況

城飛行場は

野店獨特の製造

類のない

カタログ連

大賣出し日々

一、四九二圓三七錢四八六圓〇四銭

一十周年記念



出っておいまり、日本のは、「本のは、「本の国際について、「本のは、ないなく、」は、できた。 割引

夏の吳服類一切 世四日より廿八日まで 少半額迄

三割引

三割引

3

や履物后

到3068

藤杏

の印速浪

電話二・四九四四

花治

書作

特力補強にオセロ

(281)

村も口のさる

西

埃及の通商情勢出

B

「大連市の使命に鑑み

大連毛糸弱含み

當分商談出合ひなし

急速に具體化す

株主總會の演説内容

綿業を樂觀

品

藏相、日銀總裁共に確信す

金融界は下半期も

北支手持米増す

(四)

賈頭は築島氏

即會頭は瓜谷、井上兩氏

廣く且つ完備せる

神 吉月月 位 さるさる古色

は日本工業界の神利用

サービス

に柔せてあります。 弊社は他の何れの減摩 軸承販賣會社も有せざ る別記の如き完備せる

サービス機關を有し、 一意全日本國民の御利

益の爲めに終始せんこ せを念願として居りま ▼ 營業所の数十一ケ府

各層業所ともSKPペアリングの普通タイプ は豊富に在庫し、經驗に富める邦人技師がま 任として活躍して居ります

▼ 特約代理店四十六杆 全國各重要工業都市に設けるり、その大多量

はSKFペアリングを各種タイプに互り在庫 して即時御用命に應とて居ります ▼ 東京及大阪に大倉庫 ベアリングのみにても百五十萬個以上の多數

常備して全國へ配給して居ります ▼日本人男女社員二百五十名

全社員は上途のサービス機関の充分なる運用 そなし得る楼部族を進んで居ります

▼ 経験深き技術部

輸承に闘する如何なる難問題をも解決し得る 能力と經驗を有し、無償をもつてペアリング の設計、選定等に當つて居ります

▼ 日本製造家との協力

各種機械並に工場設備品の設計と製造には日 本各方面の製造家と手を提り、AICPO有す る技術上の研究と経験ととその御利用に委せ て居ります

▼ 過去十年間の納入數量

1924年より1934年に至る過去十ケ年に於いて 日本工業界に納入せるSKFベアリングの敦 は實に人百萬個に達し、その多くは現に依然 として御使用に供されて居ります

昨年一ヶ年間に放ける日本品の瑞典に輸入さ

れたるものは1933年度のそれに比し重に82% の増加を示し原属側の經濟關係は登入緊密を 加へて居ります

職典は日本品の輸入に何等の職壁を設けず

日本ヱス・ケイ・ヱフ典業株式會社 大連市山縣通りニー三 李祉 東京

を在庫し、その他のSKF製品及附屬品をも

と世帯道具

にうまいものあり

洋行の羊羹

lŧ



頭 0 披勞戀

ロピは 的 的 的



會商洋北社會武旅 內/丸。京東 元歲後

比率主義抛棄するも

軍縮の成功覺束なり

米、頑强に我主張に反對

日滿共同事業さし工費二千萬圓

ケ年後には完成

日

和和

對滿投資方針を確立

川越次長が近く來滿調査

は各方配との協議をすへ

國際聯盟の

原則堅持

ミラノ、ゼノア、ボロニヤ等の北間は日本攻戦の武脈を行つて居り ボリーの各新版 でイタリーの各新版

內地權威百餘名出席

心に陸軍、外務、祈務策職僚各省において職業東京特體二十四日撃』前外法権撤廃の順序並

漸進的に實施する方針

日閣議で決定

局の前途は可成紛糾を発れ難く

「然たる社會賞はカトリック」

『カイロ二十三日殺國通』エジプ

埃及我政府に

締結希望



【パリ二十二日殺國语】イギリ 多分廿九日開會

蘇聯再抗議 惕木林子事件

に変更を表示している。 「東京二十四日被國通」院日ソ職 大使 能凝 事官ラ イヴイツト氏は 二十三日午後六時外務省に東郷歌 一十三日午後六時外務省に東郷歌 一一一一日本郷が資ふべきであり、實田者 の處認、今後の保護取締、死艦の の處認、今後の保護取締、死艦の の處認、今後の保護取締、死艦の

聯盟規約第十五條に

英佛間の音

とクラーク 可を履行する用意ある記念な正式 殺言の見合せ中であ 所としては職能地獄に続く変形 ひて自慢の開意を 一行の行動に出るにおいては英歌 村、ムッ村、ムッ村、ムッ

北伊都市で

ものと見られる

反日示威

最初の電氣大會

來(廿四日)

風水害を少くする知識 **学**のそ 易界

讀者出題

ヘリウツド・カップ

動く歐米視察報告

(作) 高井壯吉 南井壯吉

青山內務技監

割業を語る。 々銀行會社便覽

•C・Lスタディオの眞貌

と大場の

題 のクスクリスクスクログ

日支提携具體策

天津經由新京へ向上蒙定

引揚を動告 英人宣教師に

外務省で本月中成案

展展記、十四日 製造 日支票園 年 を収益局とも連絡を執り実際報の を開設とも連絡を執り実際報の を開設とも連絡を執り実際報の を開設とも連絡を執り実際報の を開設とも連絡を執り実際報の を関係していて、外務省は確 でし、有言院支大使その他の現地

官教師監本部に對しエテオピア 製作は伊工融國際保の形大仏に鑑み では伊工融國際保の形大仏に鑑み に引揚げるやういいした、段下地派遣産戦節をアデスアペパ附

一十四日殺國派』軍緊条件

総大連へ向った」 季交通部相歸京 《新京

その肥料界

條金雄

行賞遅る

陸軍中央部の

期の

ざるため若干延期する優様である。
一般院にて未だ御練可の手腕終了せ一般である。
一般院にて未だ御練可の手腕終了せ

原田大佐視察

發國通過與軍軍

取録式感に楽園が先づ配し、米園 扇睛新聞)伊·ヱ新の具相問題の

內地側講演者題目

を説問、行法を聴取、職州ホテル時飛行機にて奉天より来職、殿に

世界的崩壞とこれを

見逃してはいけない。 リウットの女優の美と若さをもつ最新飲

澎湃たる大衆の熱狂的支持果然! 旋風的 責行

船津氏來滿

大連丸で北行した、南島、震南、大連丸で北行した、南島、震路、町氏は北支側が行っため二十四日親と時出版と打合せのため二十四日親と時出版といる。

際郡な結婚

米支航空路

施設大部分完成 既に四百萬弗を投資

本日十六東分

編纂東京へ〇一四五・記話丸、丙四七九七 経濟知識社代理部

無害・滋食・保健・美味飲料・生と健全な精神のもてるコーヒー子供や婦人や病人にも飲めるコーヒー学茶店食堂病院家庭の必備飲料

日滿現地協定により

郵便物集配の

化計畫

の影響機を散容する事を依然として心臓をして悪いとして、

戦戦[重報の採用を以てしてもで なりに終るとの無限有力に行はる根準があるので、比率主要解棄、 内に開かるべき本食事も結局お屋根準があるので、比率主要解析の 一般の成功は健康なしと脱され本年

新尺度を援用せば

米國は比率抛棄を認

鞑

說

三周年祝賀

蘇聯極東軍頻に増員

三頭年の育式が最行される。場上 協和會の創立

今後の活躍を期待する。

関を此の理想に適合せしめんが 方面も開催なると同時に、民間 方面も開催なると同時に、民間

◆××女架横に入れて影初の成績 で下つてゐる、何うしたのだと で下つてゐる。何うしたのだと

内以行十五 らない、或は女の子

ずるとあつては、野ひ歌

数をもらつて、反射の

歌あるはいふまで

きくと「これらの科問の先生は きくと「これらの科問の先生は は敷をしないで感じで擦販する」のだといる る」のだといる のだといる のだといる のだといる のだといる のだといる のだといる のだといる のだといる のがといる のがとのがらいる のがとのがらいる のがとのがらいる のがらいる のがらい。 のがらいる のがらい。 のがらいる のがらいる のがらいる のがらい。 のがらいる のがらい。 のがらいる のがらい。 のがらいる のがらい。 のがらい。

れてらいして、そんなものを帯倒れてらいして、そんなものを帯倒れてくる者は、これを

と云ふ語るよく不にす

で頭から不良

缺點だらけの男

滿蘇 國境警備を 強化

ポ驛通過列車殆ど軍用

歌青(アダルト・エジュケーシー) は近来版を唱へられてある成人

川岸部隊歸還

Born 1820 - Still going Strong

風正スコッチウェスキ

「なる男の新……」 「する男の新……」 「する男の新……」 「する男の新……」

朱森^{甲大攻赤}鈴 島 嘉山 三 田田 製^内 羽木田村下 下富 発 藤 善 の 龍 藤 消 天 富 発 藤 宗 三 は 太 次

は一時極東東の一部を西山地には一時極東東の一部を西山地におったが、極東方面、即ち馬龍江を中たが、極東方面、即ち馬龍江を中たが、極東方面、即ち馬龍江を中たが、極東方面、即ちに置み、開

ソ聯優秀機

十六臺建造

あり、當局では更に引奏さ献金三、二六七留、海外在留者より

全國民の献金で

の世界一航空風楽の石記書につい

地方行政整備方針

康徳三年度豫算編成を前に

總務廳長會議で

騒がれては困る 傾重な岩佐司令官

その一つであらう。 徳記として表この意味からでも、快者、ピスこの意味からでも、快者、ピス

夏の遊び場所は老虎

ジョニーウォー

カー

ラ

オン

國際情勢から觀て

國防第

一主義

滿洲事件費も相當增額必要

西下車中林陸相語る

治外法權撤職問題、

(新文電話) 今天の配蔵受験により中将に継続の内命を見た憲天司 が国権が厳略氏に転しては各方蔵 し、自分は何もいつ」
があうし。何れにして
があうし。何れにして
だあうし。何れにして

期間 契約ノ翌日ヨリ百

本遊の程を!! ライオン式、良品澤利多賣主義は總べて本店同樣、是非一度御大小宴會、各種披露宴、御散策の御休息所さして最適。 老虎撫東寄り海岸に、清凉なるライオン別館を新設致しました

御料理ライオ

大連老虎無東寄海岸

阿片零賣所

課稅反對

[新京電話] 操に崩洲國政府上 は近時だく利機化し、收益も肥され各地に敗在する阿片等

田田田

of the laste

本各地名産

9

世界各國酒類 福の書し(ふぐ)福の書し(ふぐ) 元 贾 蒙 地名一川河越市连大 店 酒 藤 |

大連自 卸小賣共御注文を 清酒 醇良 ▶待ちして居ます

D 午後六時半 個語知歌上版

日本屋洋服店製二十周年記念 大寶出し日々青上高 ・大寶出し日々青上高 ・大寶出し日々青上高 ・大寶出し日々青上高 ・大野出し日々青上高 ・大野出し日々青上高

ことを20 開展から二、三ヶ月 つたが、主として中等製製を受及しが引撃し二十六日午前七時新電が大変の作券から我園の空に流一園も他の太平洋凝戦の十一 製食機・自民外各省各都市の東はならないと思ふ、兼に列園 東京で開催の派太平洋凝戦の十一 製食機・自民外各省各都市の東はならないと思ふ、兼に列園 東京で開催の混太平洋凝戦の十一 製食機・自民外各省各都市の東に関す。 薩派復興の現勢力 深刻なる政權爭奪戰

東京で開催の批太平洋新町市町駅 と東京で開催の批太平洋新町市町駅 と

で、 一次のでは、 一次のでは

から實施

田(土 田田田

滿洲國教育代表

蓄音器レコー

三日王

二十六日新京發赴日

在東京Y

駐日財務官 後任に坂田科長

千家耸建卿歡迎會

知らぬが 概で 常では こんな 脱い 脚らぬが 概で 常では こんな 脱い 一妻の職であつた。 商旅行館はだ 一妻の職であった。 商旅行館はだ 一妻の職であった。 商旅行館はだ かっとは素より気深如らず、正に危機

二派對立

附脈地方職までも進出して懸慮の「資鑑により影響せしめ、慰用織の 観選陽の北西駅境地方さては桜山 の二縁度を総織し、今後は衛型の 世巌として遼陽駅東南地方及び春 消資鑑敷設と鑑遣と荷式の画質態

粟の栽培獎勵

事務所長 中根信愛氏

○ 際の製甲自輸車を劉二家銀道賞 日暇それん〜郷里へ踏通した 風の前期行より離除途中の緩山○ で来観。驪前同合機で一治二十二 経(1m)は去る昭和七年九月第三地 の一行は二十一日午 一八時若列車 の・1の三十九名を解放したがそ

人質を捨て

逃げ廻る

つた。この他実監修高奉天名所マッテ(二〇個人二十銭)及「ルに加へて十間房監書商店塾の《満洲編》と銘打つた豪帝の製造による私久不塾の演刑式胡瓜蘭を近く継載する事となの製造による私久不塾の演刑式胡瓜蘭を近く継載する事とな

新戦人四三一、合訛一、五七四名 一部戦人四三一、合訛一、五七四名 一部の帝敬頼人は内地人一、一四四

倉庫を、

奉天驛の新名物

白城子進出の

進かに増加

満洲濱に名所マツチ

鞍山署員が逮捕

鞍山井々寮に

北て来たが、去る十 しては昨年三月以 しては昨年三月以 により南洲の經濟院遊に養越し衛 一本の經濟として勝 主の都雲に即ふべく努力せんとす。 が勢その他歌便が、総審車に能物 を動車間の版客、手 地の都雲に即ふべく努力せんとす。 が勢その他歌便が、総審車に能物 を動車間の版客、手 である。 るものである。 るものである。 の最通過機器を制度には一般として。 なものである。 の最適過機器を制度には地線圏線 るものである。 の最適過機器を制度には地線圏線 の最適過機器を制度によっては不形分な駈

痛頭つねぜか のしぶしふ く効く度にみ痛 社会類食本日 油大 元資金

匪首の炊事夫

京したが蒙古風俗を具現する噺

苦力の犯罪防止策を擴充 大同林業で計畫す

| 一個大学の大学のでは現在終しても言語の | 「「「「「「「「「「「「」」」」」」 | 「「「」」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「」」 | 「「」」 | 「」
 「」
 「」、 「」、 「」、 「」
 「」、 「」、 「」、 「」、 「」
 「」、 「」、 「」、 「」、 「」
 「」、 「」、 「」、 「」
 「」、 「」、 「」、 「」
 「」、 「」、 「」
 「」、 「」、 「」
 「」、 「」、 「」
 「」、 「」、 「」、 「」
 「」、 「」
 「」、 「」、 「」
 「」、 「」
 「」
 「」
 「」
 「」
 「」
 「」
 「」
 「」
 「」
 「」
 「」
 「」
 「」
 「」
 「」
 「」
 「」
 「」
 「」
 「
 「
 「
 「
 「
 「
 「
 「
 「
 「
 「
 「
 「
 「
 「
 「
 「
 「
 「
 「
 「
 「
 「
 「
 「
 「
 「
 「

大聲をあげて喜ぶ

軍艦や大建築物は想像の圏外

多倫廟祭ご蒙古人

間拔けた匪首 警察隊に飛込む 紅軍ご間違へて情報陳述 歸途、射ち殺さる

て来たので墜落層で

▲東京府鮮福視祭園一〇名 奉練 注復

学館生一〇名

- I

利田師範生 (一班) 次

號儒林

外史等

お南の治躍季

原作

梓

久郎

よ口

は、 一列車にて大連より勝事 に一列車にて大連より勝事 により勝事

野農林學生一五名

往來(世

娘の狂戀

無線変を縮み機を着かしても効果。
「は何能無でごが繋子ある場と」と
「娘何能無でごが繋子ある場と」と
「娘何能無でごが繋子ある場と」と
「娘何能来でごが繋子ある場と」と 芝居打つて樹む

の傾の何間形、特別の何間形、特別の何間形で ろけたので (新京) 瀬洲國恩政局では野政諸 物一般の既感と觀劇等及の良所で を行映画により資無映画を作製中 であつたが、第一回假設「際に光」 原政局の宝庫県

マニュー では戻を試ひながらさう應へ の年は涙を試ひながらさう應へ で、馬二先生の名を問うた。

な天地も慰謝せずにはるまいから。今日は緊然し終へ、既でも一続に食つて評り合ふから」

す。先生の御高名もお所もお説ね「心落しをなさるナ、君の號は」

思つてるます」

る入り

護身楽!

兼備萬人必備の

!げ防を病行流

急·三大藥効

救 消

化·殺

菌

胸を衝かれるやうな腕ましさに打腕二先生は少年の身の上語に、

打は震獣にも然るものでせらっさう。ありながら鬱宅して奉传出来ぬと

と、慌て金融し叩頭した。 かの少年医超人はそれを聴く

「君はどの位の脳野があれば顕然」 馬二先生は後を引留めて一緒に

本位

るも楽山を織らず」とは。

「登山者必携乗」 「登山者必携乗」

る後定なので

専用線制度の

根本方針成る

産業開發を主眼に・

 \Diamond で東をお被し下さい」で東をお被し下さい」 題してから言つた。
関二先生は念いで、昨頭の地を

頭痛新剂

僧金四十姓

元資發銭



費丹は他の一時的口中清凉剤と異り、暑 製に用ひて元氣を倍加し、常用すれば、 製に用ひて元氣を倍加し、常用すれば、 製に用ひて元氣を倍加し、常用すれば、 製に用ひて元氣を倍加し、常用すれば、

があるので同劇神は悪いまいことか大震衰を催して前続ひ、奉六省 だ風吹を唱はしてくれ」といとも **薬酔といふ店から同じ館の同家神・製目前のこと五六百疋の腹が天** 合はせると低月六千除順に上る。 も殺される者もお丘に支那の國民 それに家々のお楽所から棄てられ 者権状治は虚形のとき「殺す者の影響銃殺に遭つた支那の共産王」 臓の御入來は大喊といる巡信

通過する監修機関し、 関連整備級 に対する要求は事態後特に日前 である要求は事態後特に日前 安東暦に新築 急策
どして 第百十六萬元と内定、愛氏の影記 ・ 一般後の意識を修て古代連集出 ・ 一般後の意識を修て古代連集出 ・ 一般後の意識を修て古代連集出 ・ 一般後の意識を修て古代連集出 ・ 一般後の意識を修て古代連集出 料は近代的科學に依り維照及びコ 附け絵へ、小生と一概に下徹に生った概だし容もあるまい。君上机を性への性能なのだから……日も盛れたとない。君上机を性への性能なのだから……日も盛れたと

ではないかし

十生作物を播種 九臺縣の夜盗虫被害

がにも歳多 杉浦海事官の語るところによる

かね」と訳ってる

一てるて下さい。私は直ぐと遊真を になて下さい。私は直ぐと遊真を になけれて近ひますから……」 に対しの少年医歌人は蛇磯位観な との点が演真を脈合戦にはんで背 でで点の少年医歌人は蛇磯位観な でで点の少年医歌人は蛇磯位観な でで点の少年医歌人は蛇磯位観な が、概と膨端は脱跡の町の空 でになった。 でではの少年医歌人は蛇磯位観な が、になり ででは、馬二先生に良いて交響 でになった。 ででは、馬二先生に直ぐ。 「君は翌位臓歌を撃んであるか、「不滅のた。 た。 「君は翌位臓歌を撃んであるか、「不滅のた。 た。 になった。 これであるものか、どうか、見てが遊のやうだが魔を出すから、 「君は歌都を何年ほど やつたか 「恨女もやつたことがあります」 「どうぞ御揖歌下さい。把勢なもて見たいが。どうかね」 夜になると馬二先生は又同ひか いかかやうにし

たむし、水虫、いんきん、の手當は早いが肝心! やスグヒンターを御試しあれ!

五五十 衛兵治田守

頭" 有多級条集" 船台駅は 第7化6 投き付き車を行き 版" 準さ流は乗ぐの" 外名 意。荷で行きと、配き出き に に に し に に 質さ質:質を質:質・質・質・ 悪疫流行の時!家庭に、旅行 丹龙丹龙丹龙丹龙丹龙丹龙 全体 無 時 取を 変 吹2 山北分を供き 構 で 野 売 選 施 た 既 中 走 吐 ・ 他 だ 全 さ か な と か に に に に に に に に に に

時なんこ

・・・・を丹賓グス

金·育·縣·桑·哈·族

に、海に、山に

〇条護療店にあり 定 價 金金 图 級 金 金 == 實際 實際 實際 實際 實際 童童

丹龙丹龙丹龙丹龙丹龙丹龙 阿仲瑞之他區谷下市京東 语 本

食事も二度にし、それで十分です 消いたします にヨク吸收されて安全に皮膚病の悩みを解すれば葉効持續的で少しの刺戟もなく皮下なれば葉効持續的で少しの刺戟もなく皮下

守 田 治 兵

下谷區池之場仲町

は 歩に出すれば緩寒で、 本に出すれば緩寒で、 本に出すれば緩寒で、 本に出すれば緩寒で、 で、 第二千餘町歩滅たと見られてある で、 第二千餘町歩滅たと見られてある で、 3二千餘町歩滅たと見られてある で、 3二千餘町歩滅たと見られてある の限は却で機作には過度の概ひも被害甚大で六月より七月にかけて

リ ラ

切下を斷行し

年上半期に於いても引続き好調で し味噌ある。 「東京二十四日被闘通」 製粉の動 り有情…… 「東京二十四日被闘通」 製粉の動 り有情……

高は左の如く前年同期に比し二百ある爲一月より六月に於ての輸出

經濟的競爭力を增加

伊國の法定準備條項停止に關し

我爲替銀行筋の觀測

-公領は職に 米は二千百六十八萬五十二

粉のメンピングが完全に仕継

を 本は二千百大十八萬五十二百五十 でという。 が人様が中の郷一位を占む でとして が来の配線を でとして が来の配線を

ローマ市能も共に安値にあれた 見る修落を見せ、またミラノ市債

上海上半期の

学歌機は六萬町歩と見ら 本小日歌引が開始されてゐるを聽の五、六%に過ぎな から、內地出品者瞻は蹶一日は大歌の態性は来た事けるに 午餐から郷三日にかけてであらら

【事天電話】福洲見本市院艦を使してゐる 上業展覽會も

全観を遺憾なく現出し好評を博し

上期內地製粉

對滿輸出は

濠洲粉の投賣

意義の機勝、宇佐美術領事や山本館議部において開き式を参げる田 にニチトン紙の服安丸変に丸の開いませんでは、多山、浦棚航路 紀を連続してゐたが、今 朝郵の新配船

○○○トン)の二般を運動するこ

群があり、終つて一同食場を

川谷幸左都は氏は打合せを終 務官歸任 川谷駐蘇商

基くものでは、映画は一個圏を

第百回決算報

出日日日

で成章 △九章 立の第 10 看 立の第 10 看 10 看 十折

市況 青黒芸術学の一途を辿 人五五元九 人五五元九 人五五元九

3:37 4.42 7.06 8,11 9,21

日活館

先選來增速期の品簿を控へ、預高。 乃至十四錢高と寄つて被騰を派じ 一二十四錢高に四圓數を突破し、五一豆は養暖海もあり高愛高に作れ思 月末來の高値を示現した、當風ま 勝を辿つた 高粱奔騰す 大豆も賣物薄で騰る

芸る上半期中上海へ輸入せる外國

輸入品中の首位

日貨防遏不可

埃及新聞論難

整理商内の。

したこと等の事情に

對日附加税を

及政府の日接通西領対職業は戦争から外別省への公電によれば、協から外別省への公電によれば、協力を対している。

加國、

實施に決す

適用は二週間後か

思惑筋の買氣で

人場者の七割を 滿商側で占める

の歌の彩館僧に熟まれ朝來より数 大日歌引が行はれるのは第二日の「親を入れて二十三日ニューョータ 一日の慕を開いた。この日鑑天 には未だ酷説の下見の程度で裏の「イタリー銀行の金融倫理法院止の 一般の演洲見本市は二十四日午前 の比較時候を行つてゐることは何 「本語の演洲見本市は二十四日午前 の比較時候を行つてゐることは何 「本語の演洲見本市は二十四日午前 の比較時候を行つてゐることは何 「本語の演洲見本市は二十四日午前 の比較時候を行つてゐることは何 蓋を開けた睾天の見本市 伊國の公債

日

求償制を加味した

富玉 萬

四 氏が製き現在の権団氏が駆動に就たけるに至ってしまひ髪るものはを動だけ

彩である。(富貴は固社) 彩である。(富貴は固社)

正隆銀行株主

總會

0

石排込によって第二新株の構込機

拂込知服

一株に付き十圓

管口から

支那向豆粕急增

2 【大阪二十四日菊園通】二十三日 年 秋荷の 人様限を企業してゐる。

1 年の二書、人線布は一部を各番人 しては、既取勝蔵の凝糊等人をなさ しめんとするものであると

の戯戦上感験による戯像歌劇以来「内地に一人、内地地金路の手を通

日本の金銀輸出入一

調修第二新株は左の如く構込微枚

滿鐵第二新株

輸入制限を企つ

蘭印の對日貿易新政策

上半期は著増

(可謂物便到理三集)

三面を略へ、意識としても有量にい時代のこと故語地も鮮米六十二

商社

9

7

も地味、 受賞な 製織を繋げるやり の配置を行ひ九年下畑には四分に

昭和七年下期に初めて二分四厘

連分けである、歐洲大阪直後の店は大正二年の開業で蓄地業界

権田蔵店は明治の

祝時代にどうやら満洲における

総木氏の後を一昨年中村衆吉氏がとなって、極田氏の舌心も戦変

(C)

が を開き転換を削削中であったが、 を開き転換を削削中であったが、 を開き転換を削削中であったが、 を開き転換を削削中であったが、

に出つる事となり右の方針を決定

拂込を徴収

手掛なり

水越株式店

映楽鉱

サニ日 中 サ四日 央 12,00 3,25 6,50 映 12,10 8,35 7,00 映 1,40 5,05 8,30 書 二 十 統 館

二)四四九

街の向日葵

雨傘日傘

古殿とモダンのカクテール、風都に伝ふ大和

三屠殺場も大改革

を養命し、総監察後に散射的努力と養命し、総監察を所の所方面に其の機能である。

組織し従来金融

幸運の手紙、現る

たが其のはがきの全文は次のが舞び込み氏は其腕へ周出でが舞び込み氏は其腕へ周出で

川久三郎、若東湾田に就職中の総道 挑索線白狼溝に匪賊

二回女子選手振大會も行はれるが青職盟後援の下に帰職、爽いで第

トにおいて森洋行主能

組に及び當日の際院さは期待

丹下左膳」觀賞會 讀者優待券(一处)

滿洲日報社

『丹下左膳』觀賞會 暗筒津産及び中央 (人人) 後援 滿洲日報社

新京庭球大會

暗夜の衝突. ター カ

廿六日封切上映

哈爾憲

き翹寝裡に堂々公開! 作遂に就る!清都待望の名篇!あゝ

1限りなき威激に風の如高調例の王座を占むる傑

市政當局で全部統制

優樹を植ゑ釣魚場もつくる

第二千回の巨悪に悪してゐること と読はその後世間中のところ、四 と話はその後世間中のところ、四

出し賣上げ

日本國科際學士 姜刈率雄 新京朝日通三五

新京中央通二三

13

チ

ハル大賣

京勝安東の發展策

常

出地出現

邦人二名を射殺

安東の公園を収録せしめようと意識光層にも必ずスケジュール中に **気込んで居り、その成果は期待さ 慰として安東を登場せしめ有較のする事になつたもので、満洲の公**

英国式権球ファン、

オーヤマトホテルにおいて







坑山衞生、に努力

華工の疾病者多數に鑑み

所料北陽署を始め高

館昇格に狂喜 チチハル領事

平

かけてもと管下

犯罪豫防十箇條

般に配布

や、日瀬宮民事げて社喜し宿 は昨年の如く豫難解除の悲選に流 なことは恐らくあるまじく、所く をことは恐らくあるまじく、所く をとしくスタートを切ちものと

錦州印刷業者

新京永樂町電話五二五五書

个度は苦力の罷業

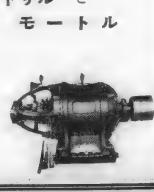
鮮人產業組合

単獨又は帰女子のみの外

事、誤嫌最を設け同意質の様耳動を記成、會長、断問、設定を記し、會長、断問、設定を設け、自動性の様耳動 「京」全議各地の地方事務所に 新京に親和會

夏の洋服は 和京祝町ブノブ(開作前)







雅笑店ニア 共益公司

木部着色塗料・ ギルソは木部へそのまゝ塗る が出来ます。防臓力もありり 延びもきいて迚も經濟的 であり只今各方面に御賞 のであります。 HAINASHIN

和京日本精通・電話と四乙五番

は皆様の

鈴木孝雄大將

苦心二

月の捜査

强盗逐に捕はる

奉天北闢署の手柄

要つて正犯の李朱樹(二人)

牧二十二日早朝奉天に連行同

から 取聴の であると見られて

連勝又洋服店新京出張所

眼

眼鏡專門后

です。こんな時は治療薬アイフ

ません。それには原因となるべ

き下痢を投

マシ油の如

ありますから、たさへ苦痛が少 格、胃潰瘍の原因さなるもので

します。慢性アカタルは往々胃 限いて顧色悪く全身の衰弱を水

くさも充分治療しなければなり

さ不振生をかび厳し、下痢若し

くは軟便の傾きある人は治療薬

有毒物質を じて腐内の

アイフ以は特製アイフを

す。嘔吐後は一時楽になるもの

存保中夏は告庭のこ よいさだくてい置てし

さ、ゲツブ出て、酸熱を楽し、 なくなり、脚先つかへ、むかつ

胃痛を覚えます。酷い頭痛がし

て嘔吐を催するさも屢々ありま

が大切であ 日重、日本は日本 飲食に移ります。そし 位なら差支へありません。かう 日位絶食するのが一番よろしい 増しても最初はおも湯、スープ して充分胃を休めてゐる間にカ 関連等を當てゝ程める方がよろ お腹が痛む時は焼き壁、蒟蒻、 恢復に從ひ漸奏、勝、卵等の しい。口場には湯ざまし、番茶 を服用して身體を安静にし、一 タルも自然恢復します。食慾が 高湯等の流動食から始め

> に充分注意 一が、食事 を服用する

して時間

秘性の人は

服用し、便

加減アイラ

べきであります。 スープ等勝を掲載しないものを 栗粉位から始め、次にうす時、 擽び、嫉似を待つて徐々に進む しい。食物はおも湯か英湯、片 の又は都条のさましたのがよる

服用し、傍ら温温布、湯 を進めます。「湯には白 するのが一番よろしい。 位紹食して身體を安静に ります。そしてまる一日 一掃するのが理想的であ

察藥を服用して専心治療

することが悲しいために カタルは身體の榮養を害

に悩まされます。

慢性區

肺を病む者が鷹に故障が他病に罹りやすく、殊に

あれば肺緒様に使されま 故にアイフの如き治

主食さし、スープ、学熟卵、キ主食さし、彩、うずん、ベン等をに努めるさ、もに常に飲食物に それには下腹部へ脚がを含てる 温めるこさが大切であります。 でも腹部を をれには下腹部へ脚がを含てる 学がよろしい。 ものを採らなければなりませ

胃カタルであります。後て經過 治いピール、サイダー 不正、食物の咀嚼不充分、暴飲 てあります。原因は食事時間の が悪いを含ふ人は大抵この慢性 暴食、氷水やナイスクリー も長く、病人の苦痛も永いもの 目病中最もない病気で、普通目 等の過飲

ですしたいの不養生から思はの 些敗を招くものです。經過がよ

いさ割合館車に取ることもあり

それから過度の飲む、油こいも

の、香味料、茶、コーヒー、

草の類が無げられます。

病狀は普遍食物不振で胸先っか

へ、むかつきがラブ多く、嘔吐

ますが、手賞を誤ると慢性症に

博じたり、作ろしい傳染病に冒

不宿化物及び脂肪分の過食、麻 この病類です。原因は暴飲暴食 ん。断壁が大勢でやられるのも されて後悔せなければなりませ

敗した内類、赤癬の果物、氷水

ピール、サイダーの過飲等であ

気不精になって仕事に倦さやす

の等地と、睡眠不足、便砂に

所氣がある**は他中に故障が多く** い苔が出來ます。それからこの

ります。症状をしては、食慾が

は食物が腐敗しやすいため、

ることが最も多いからて、殊に

た一番よくあてはまります。そ

すば、このとうは急性胃カタル 部から病はいより入ると言ひま

れはこの帝気が飲食物に原因す

に嘔吐し、體凝が著しく下降す のて、便は水様の下痢便又は軟 日四五回以上十数回にも及ぶも 州すると一時痛みの止るここも 題例必ず下痢を伴ひます。下痢 ひ胃カタル等より避るもので、 ピール、脂野せる食物、不良の スルを同一て、暴燃暴食、法・ まづ第一にヒ 急性脳カタルの場合は、 疑ひあるものですから、速に適 る時や、便に粘液、血液を混じ が拘等との區別で、下痢と、1 ます。茲に注意すべきはコレラ 角を覚え、腹部がゴロく鳴り 便であります。殿熱、悪寒、頭 文排便を催す等、 のります。排便をすますこすぐ には腹痛を伸きこさが多く、下 来が、懸冷え、勝内の寄生蟲及 国の處置をごらねばなりません 熱も伴ふ様な場合は傳染病の 裏急後重て一

を催し時はは帰郷を見えます。

常に口中の職を聴く、舌には白

便で一日一三回より五六回に及があります。便は軟便又は下痢 放配多く、身體衰弱して顔色悪部にゴロく、重味あり、腹影り す。こころが食物そのものは悪食物等が主なるものでありま 食物、不消化物、過熱過冷の飲料胃カタルを同じて、腐敗した タルから移行するもので、外側 に病気があるやうな場合は食物 すから病勢は一進一退して敷月 來てゐて、食事毎に刺戟されま びます。腹痛、腫瘍を伸ひ、腹 て一般群して下海する事がありま の消化が充分でないなめに、脚 くなくても、自が思いこか、胃 石しくは歌年にも及ぶことがあ は地較的病態に見えないやうて ります。その原因の大部分は慢 勝管内壁には斑や爛れが出 神經過敏をなるて眼睡不足 症状は食物不振て口湯を覺

この病類の原因は大體急性胃を

慢性脳カタルの多くは急性脳カ

大阪市東區清水谷西之町

東京市本郷區、真砂町東京市本郷區、真砂町東京市本郷區、真砂町町銀砂町 连 市 山 · 月)四〇一〇番地 大〇八日 HOOH H

大

東京

全國到る所の有名薬店にあり

加工工



(未粉)フイアはに病菌の腐せ胃

分日七十二號十三入 服 三分日五十四 號五十七 分 日 四分日 十製料 銀五十七 分 日 四

はに門事病胃

急性腹力タル

滋養强壯劑を選ぶに

は

これだけは心得られ

た E

っではない。

殊にその内容の相雑な未消化のものは、日常の所謂榮養

には、消化の煩ひなく、栄養價の高い、しかも胃膨强北 そ、正しき滋養强壯劑の必要があるわけで、それをなる。

食とは五十歩百歩である。

息者や小兒期には体蛋白の補給は急務である。而し 思者や小兒期には体蛋白(血肉成分)の消費が著 てこの体蛋白をつくる要素はアミノ酸である。

ポリタミンはこの目的のために製出した本邦嚆矢のアモ ノ酸綜合劑なのである。

者が ポリタミンより外にない。この点も御注意願ひたい。 ・ 競樂博士から推奨報告を寄せられてゐる製劑は、 推獎の理由

等の酵素を以て、約一ク月を費して消化して得た成績物に、人体内の消化作用に準じてトリプシン、エレプシン養に富む蛋白質を原料とし、之を獨特の設備と操作の下環リタミンは近代に於ける菜養學理と實験に基いて、滋

進 進 1 5 酸酸酸酸酸

然その効果を異にする。こゝに醫家推奨の理由がある。てその一部分が吸收せらるゝ蛋白製劑や脂肪製劑では全從つて有効成分量の微々たる榮養劑や、消化されて始め アミノ酸を豊富に含む!

發賣元 大阪市東區道條町

厕東代理店.

ANIUNIUNIOIUNIUNOIAUNA WINDINDINDINGIKINUINUA שפאושחוטחשואפע וואטחעוחעוחעוחעוחעחועחושווים

大阪市郷上雅 東京市本町

血鬼壯 であるから、消化を要せず よく衰弱を恢復し、健康を増進する。 の如き各種の高級アミノ酸を豊富に含有してゐるので、 弱い消化の惡い人にも、利用率が多い。然も本劑は上記 弱い消化の惡い人にも、利用率が多い。然も本劑は上記 酸の綜合劑

食 欲 増進 ポリタミン中のアミノ酸は又胃腸細胞を風 ルモン合成 ルモン合成 ンに関係深き脳下垂体ホルモン等も夫々アミノ酸から構 ンと云ふアミノ酸から、又膵臓ホルモン、或は性ホルモ てゐる。例へば副腎ホルモンや甲狀腺ホルモンはチロジ よつて合成される事は既に立証され よって合成される事は既に立証され 榮養を増進する。



蒙古馬に跨つて

新興國の姿を視る

しでも総合しないやうにする悩はでから、原販の防止は、その菌を少でからは、その菌を少

敗魔のないところに震敗現象は絶いる組織のために起るもので、廣

においる。ところに驚い悪などがその
 にないところに驚い現象は終して、そのま、密地がなくなるわけです。ところで影歌では普通気が出て、そのま、密地がなくなるわけです。ところで、驚歌の所出は、その意を少さんなに注意しても驚いてしまるので、魔歌の所出は、その意を少さんなに注意しても驚いてしまるので、魔歌の所出は、その蔵を少さんなに注意しても驚いてしても寒歌して、そのま、密地がなくなるわけです。ところで、魔歌の所出は、その蔵を少さんなに注意しても驚いても寒歌しているで、魔歌の所出は、その蔵をかくぐらるの総では死にまないのです。
 はいのです。
 は終焉して魔歌蔵は、にに、双は楽滅に解音しないのです。
 は終焉して、ところないものにはならないわけです。
 はいのです。
 は終焉して魔歌蔵は、これくと二十四時間内に全部魔歌ないのです。

洋家具類の

れでも求めて、これを標々多くて 一週 一味協かければ窓に

砂糖カップ二杯

お手入れ法

一週一回位はいたしませう

の時、世館と用法をお読ねになるをありますが、それぞれお買求め

出してをりますが、あれを何

といふものか、ご依じです

書館の上職

織口背荷のとこ

霊物の飾り色布

版に一つ三流たらせばよいものと

の計をつくり、その計に砂糖をす、それを進してカップに二杯す、それを進してカップに二杯す。

不經濟は無精から

めには腐敗の知識が必要です。

〒四〇ペーセントとつてしまふといもの入職らないのはこのためで、

水内では全部死亡ます。こから

し表職を願いておくこと、お厳酷 させてから持つていくことなど。 させてから持つていくことなど。

たり、古くなつたらラックで塗り

夏になると物が

何故腐敗するか

これを防ぐにはごうする?

奥さまに必要な知識

つてゐるのは女優メリー・カーリッスル観 ラフィアといふもので織つた野連溝を過ぎ

野趣豊かな帽子袋臓師なテニス解が現れま

痛を過ぎるほどのものです。微

して出来た染點はアルコールを燃かに染點を中心に排で避してあると、とれます。然し、これは溶影ではかすのであつて徹底したものではありませんから

アルコールで洗って、ラックをか なったものは 酸めて 変り 書への方法は

たづ無機から來るものだといひ得 とのですが、さらした事は度々 というですが、さらした事は度々

ませら。(田名編改雄氏終)

風味の

異國料理

六月三十日 その七月の日誌の一節です。

といはせた御主人公。こんな性格の漢子さんは昨夏蒙古馬に乗つ なめ乍ら新興の姿を破棄して來ました

りに散がに出る。一種附与は摩抜

東京のドクトル馬島澗氏の含繊藻子へ一九)さんは、お父さんの提

七月一日

松花江を下る日、出鍵の

散久保養事と謝意が長年最田中氏一般に着更へ、ことで強廉なされた ま此趣りは、もう日が高い。乗脚 六時半起床、三時に日の出るとい

七月三日

大と云ふ人、山東から來たと云ふ人等、丁彦津震の民の謝にながれながら、こゝまで來た人悪であるこ十曹、孫至三十曹の儀金を発どこ十曹、孫至三十曹の儀金を発どこ十曹、孫至三十曹の後金を発どこれが持ち、利子は五郎との本の上去年は形と公部の人族水で家財野良は全く渡され 終り、乗りは局段の家(私

事を利用する場合は**必要でよ**

る觀を展品小

と接してゐたが今度は滿洲に繊手をのばし。さき程市内に獲見さ聞する貴民殺害療法に興味を矫ち。女學校以來常にこれ等の人々

馬島漾子 北滿旅行記 ● 北瀬蔵行の途にのぼる。其日の午後二時半沖車は哈蘭濱に着く、何と慰じのよい低、髪しい紙、竪跳

カトノーしたら、もう最初の目的は、いなかるみ意を大丁ほど歩いて歌といっく。今日は、ゆつくりやずむ歌となり、彼を歌がする。歌 必要の人以外に日本人を肌らぬ の人は満洲服を着て日本語を聴す

で関ふことが必要です。無機を のだと離は七十回標、機ものだと 助か十五種となつてるますから、 かりを のだとを がと がと がと で見載りをした上 洋装の生地 買ふ時の心得

機花江を依分に観賞する。十一時 一大廠の服装事吉川氏も御・総に 一大廠の服装事吉川氏も御・総に

トアトと馬を走らせる。膝つて來の反意振りを調査に行く。膝りは れを持つて駆に乗り附近の怪蛇馬でもつて来て居る。さつそく

まく撃えておいて下さい。

うと思ひますが、あれは『桜



糖砂氷らか昔、でとこじ同と沿水海もてしに山登 かる寸給補を分辨、はのるはながれ接とるべたを め飲を 10こりと に時なんこってしまりあでら 果、糖萄葡いやはの枚吸とつずもりよ糖砂米、ば 増を領元、し消解を勞破に逃退てれる給補が獲 ずら限に山澄や浴水施。すましに快夷を分氣,し 動イシラバスは1のこりと言むに勇疲のとあの動運



るあで官化消とるべ食を類構や粉膜の中物食常日 早はに時たし男被らかすで。すまりあでのるせら 液化消や器化消、にめ貫るせさ復恢を勇疲のそく たしと分成主を模果、精動能に時たれ渡で治水海

金五錢 **质告新戦術**? の第一流料理店の名が書いて出前の程には××××と市中

◇…サンドウイツチの戦りだね ◇…先づ二きれのパンを用意し が多をつけてトーストにします。 パタをつけてトーストにします。

ベイナップルとを細かく嫌んだも

のをのせます。

一十五日まで夏季休暇に入ります。
小學校行事 【廿六日・金

た火鍋子を持ちこんだ。煮え の火鍋子、電車なんかに乗つ 教派電車中に常整備から支那 を腹の眼に、さては!一金五年版の眼に、さては!一金五年の眼に、さては!一金五年の眼に、さては!一金五年の間に、

桃椒藍に至つて離く降りた。

一 動り離ぶきかをかけず、平生は乾のラックを塗った将家具はご伝じのの

く切つたものをのせます、別にへく切つたものをのせます、別にへるを薄く切つて味をつけ、焼つて 一般肌の上にのせ、もう一切れのトーストを重ねれば、その ンドウイッチ」が出来上るのです

ウオーターメアイスを

が一個。 つて見ませ

の根源



國語で強勉能賞。すまりあでのふいとるすと要必 分槽。すまひ思と事の知存亡も人誰はとこるすれ しと分成主を糖果、精靭能、易れさ枚吸も最で中 いよに時たし男族で事へ考や強勉が私のこりどれた







すで異なんこ。すまりあでのるなにせや夏でのいなれは行 分成主が被果、精神器のこけ込のこりどう。すましたい復後

で料養榮の復恢勞疲・りあでともの力動活體人は糖果 まりあで詰瓶の一ギルネエるせと分成主を糖果・糖萄葡はのこり 京城市民安堵

(日曜木)

その先達……櫻府から七名の女性 『満洲國認識』の旅へ

洲熱の擡頭

OH. > 00 JELL

一部、京学戦、歌田町、 一部、京学戦、歌田町、 一部、京学戦、歌田町、 戦の常毅により新な高者時間も決事天職親となつてるる。この外別

お書をのぞいて見ると、の個利欲か 修繕だ、残引きだ、上は株舗裁よ よくうなぎを重べてゐるゲンと り下は一ヒラ北東院に至るまで仲

【事天電話】 瀬洲北古

大二中旅行團

1935年型

全商品ヲ撃ゲテ

ハルビン・チチハル司令都酒保一手御用達 連市浪速町通京日本 構通 大新 店店

國線新ダ

あじあ哈市直行 しより 時間大短縮

の後同十一時大連輸出に於ける殿神にて來達、深東ホテルに少觀。別車にて來達、深東ホテルに少觀。

職の犯人 食堂車のコック

学報の議人あるを發見密 で之を財職に概込まんと

は夢見しないがなは歌歌に歌恋中につき觻顔した歴表末だベスト

るや同様が青い類を出してつつばり線に何心なく左ろ

博士一行

ある米川カリホルニヤ大学教授を 年前六時四十分ののぞみにて

至滿舞踏場が

聯合會組織へ

關東廳の肝煎りて積極運動

地版

引

浪速學

のウナギ港

個産の大気に挑戦する肉種

泰猷の神刀を改める栗原

動のコック構成金(*シ高駅は(***) 行方捜査中 地へ捜査の結果右は同別車の金雪 筒輪像者ある模様で

純絹

暴動を企畫し

楊遭林逮捕さる

日本憲兵隊の手に

摘せられ、日下梅菜の

る着は、番く透着

· 大電話 | 全國都 米國組勝つ

悦を求めて一瞬一再びコングの響き、 極邦し、勝き上がる旺盛な日本精神に喜

音がよどんだ道場の空気を揺がしてい と「最敬心」の観念がかいる。静かに東

一部の間を往復、ロードワークが青む

成職となつた、その結果をの通り、は合は米園組勝ち米園二勝一既の一般の一大会に米園組勝ち米園二勝一既の一大会に大田地の一大会に大田地の一大会に大田地の一大会に大田地の一大会に大田地の一大会に大田地の一大会に

胞を休めるの

大七七大ルンドランド

忘れて足損を、加髪のスピードを増しつ

は小丸師観の語、新くして時の熱つを

か色々な動先



漢林は十九日職殿日本憲兵廠に邀「線である

扶餘ペスト騒ぎ

病菌は發見されぬが

嚴重なる警戒を續く

の實剣ら

報に婆した蕭麟では直に現地に 刺駆熊郭藩にペスト誕生せりと 対京二十四日穀國通』 眠報扶徐

短銃で傷け 馬を奪ふ

ベルベルク単袖三

園三十銭から二三個程度

コ。

グ

満人客を来せて夜更けの鎌道北寛 を脚車大山東省生れ姚中胡(E)が

物騒な馬車の客

城子道路に差かいると、

形しそのまい殿に東海げした

大連神社大前の盛儀

謹作の、神刀奉献

刀匠昭秀

栗原彦三郎氏

危險々々 殺人電柱 漏電で少年重傷

の電柱に觸れて外人の子供が大火

工用丑の日の盛況

新輸着 を示して居る唯一のカメラであります

サービス水位 大連連鎖街

フヂオと電氣の店

義昌無線鏡順直

電三·一大七〇

建設は頭腦より頭腦ははれやか 倒 より | 東亜剛 | 30 50 1.00 0

御座いますせて頂きます

アングラボー・アングランドンコンドンコンドンコンドン

第一一回廿銭 飛馬着磨いますが今回は際に白を多く駅倒いたしました。裏切れぬ中に見来る場所の観光観、クリーニングすればする脚よくなると云ム生地、前に グラニット地ズボン

できた できた こうかい かんしょう しゅうしん こうかい しゅうしゅう

西

で、それだけでも要は……」
と溜をこぼして、暢が云へなく
なつてしまつた。 がらやつてあなたのそばで、 とかずかに手をふつて、 手前の心は分つてゐたが 要は出合せ、それだけ

五日

七月廿

廿六日

割引

T T T D

割別

廿九日

割引

は八日

割引

大連浪速町の

廿五日

割別

をなては、巴之郎も脚をつかれ、思はずもホロリとせざるを得ないのだつた。

9

,幸极



H

ちつとしては……」 死んで行つた小極の前で、日之助の胸は切なく、 へかうしてはわられない、一致も

秘訣の第一の急務! を表ともなり、胎兒の連續御愛用が安産の連續御愛用が安産の急遽

產安 述士博學醫瀬片 上呈子册にめたの

男

一日本で何となく歌が著作で書

◆ 変音には ぜひ 必要 かっキリと現状になる ハッキリと現状になる いっちりと現状になる



滿

州低

まで 滴は 腎臓病に玉蜀黍毛の血病薬局 基表 フケ取っ香水

満日社印刷所 印刷般

育

兒

で修も男がたつ。小様つ、日之助で修も男がたつ。小様つ、日之助

うむし

へしかじお網は、あゝお網はどら

兩手におさへて、

脳動者、酒に荒んだ女だつたが、 一覧から筋の微り きっちひの

とぬぎりしたが、小樽はよろこ

女らしく逆上して、ヤケ酒に撃ひっれなくされたと思へばこそ、

れ、犬浦の手込めにもあったの

あさはかなのは女のつね。前非一

世之助は又立上った。

じ之助に寄せた純情ばかりは、水

たぞ、世之助が……」「毛町の、手町の敵は討つてやつ」

よく暮らして下さいよし

日之助の際にも泪が光つた。

こと野に口を押つけて、

お網巳之助今の三つ

しゃくをたれる、酒のしづくも民

之介 行

小福はもはや、これが最後と思

鹿兒島鍼灸療院 專門

康

夏

法特

.87 .63 .85 1.25 2,00

灸術

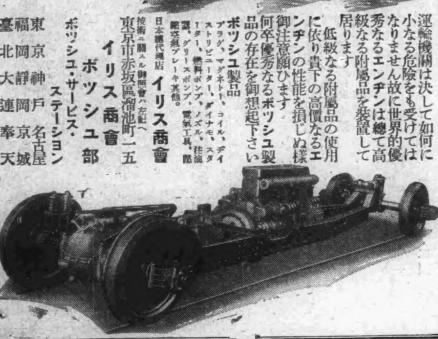
(二十)

異

法

(154)

京神ステーンステーンで名 ボッシュ部 リス商會 町一五 ション



あげよ能率にるな はれやか『宮海田本門 35.50 2.00

は招く 健康色の滑らかな美肌に……コードの御愛用によつて

海



養・消化共に世界一の無糖粉乳をお奬め致します牛乳やミルクの腐敗し易い夏は腐敗の恐れなく榮

初老期衰憊等

別名業店●大百貨店委品部にて販賣金輪職(皮下)●線輌●粉末の三種

日本養養料定會排

奉天加茂町十六番

性的神經衰弱

粉

生殖器 障害

生殖器發育不全

適應症」(男子用・女子用共)







英瑞 煉 乳 公 司製造元 華天孤遠遠三 七 乾卯商店大 連 支 中 司九店七